

消 防 年 報

令和 5 年版

(令和 6 年刊行)



制服用エンブレム（平成 1 7 年制定）

江田島市消防本部

は し が き

この年報は、江田島市における消防現勢及び令和5年度中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するため編集したものであります。

資料統計は令和6年3月末日をもって収録し、一部これによらないものについては、当該表にそれぞれ記載する年月日で表しています。（「令和5年中」という表記は、令和5年1月初日から令和5年12月末日を表します。）

令和6年 月 江田島市消防本部

概 況

1 江田島市消防本部の概況	1
2 面積・世帯数及び人口	1
3 江田島市消防本部・消防署・出張所の配置図	2
4 消防の沿革	3
5 歴代の各役職	9

総務関係

1 江田島市消防本部組織図	1 3
2 消防本部事務分掌	1 4
3 消防庁舎等の現況	1 7
4 消防相互応援協定の締結状況	1 7
5 予算	1 8
6 消防職員の現況	1 9
7 教養	2 1
8 職員の公務災害	2 2
9 職員の特殊技能状況	2 3

予防関係

1 防火対象物の現況	2 4
2 建築同意事務	2 5

3	中高層建築物の状況	28
4	危険物	29
5	査察	32
6	火薬	33
7	高圧ガス	34
8	申請・届出	35
9	広報関係	39
10	民間防火組織の現況	41

警防関係

1	消防装備	42
2	水利施設	45
3	主な災害の状況	46

火災統計

1	年別火災発生状況	52
2	地区別火災発生状況	53
3	月別火災件数	54
4	出火原因別火災件数	54
5	時間別火災発生状況	55
6	火災統計各図	56

救急・救助統計

1	救急出動件数及び搬送人員	57
2	月別救急出動件数及び搬送人員	58
3	曜日別救急出動件数及び搬送人員	59
4	時間別救急出動件数及び搬送人員	60
5	年齢区分別搬送人員	61
6	傷病程度別搬送人員	61
7	傷病程度・年齢区分別搬送人員	62
8	現場到着所要時間別出動件数	62
9	病院収容所要時間別搬送人員	63
10	救急隊員の行った応急処置	63
11	年別救急出動及び搬送人員	64
12	救急隊別出動件数及び搬送人員	64
13	救急応援活動の地区別出動件数	65
14	救急応援活動の出動件数	65
15	ドクターヘリ要請件数及び搬送件数	66
16	普通救命講習の実施状況	66
17	救助出動状況	67
18	救助統計図	68

指令関係

1	通信施設の概況	69
2	119番受信状況	70
3	覚知別災害受信件数	70
4	出動指令区分	70
5	月別災害119番受信件数	71
6	曜日別災害119番受信件数	71
7	時間別災害119番受信件数	71
8	無線在籍表	72

消防団関係

1	消防団の沿革	73
2	江田島市消防団組織図	76
3	消防団長・方面隊長	76
4	階級別団員数	77
5	消防団員退職・新任状況	77
6	団員の在職年数	78
7	団員の年齢構成	79
8	消防団の定員と報酬	79

【概 況】

1. 江田島市消防本部の概況

広島県南西の広島湾に浮ぶ江田島、能美島とその周辺に点在する島々で構成される。

広島市からは海上約7.5km、呉市からは海上約6kmの位置にある。呉市とは、音戸大橋・早瀬大橋の両架橋により結ばれ、実質的には陸続きとなっている。

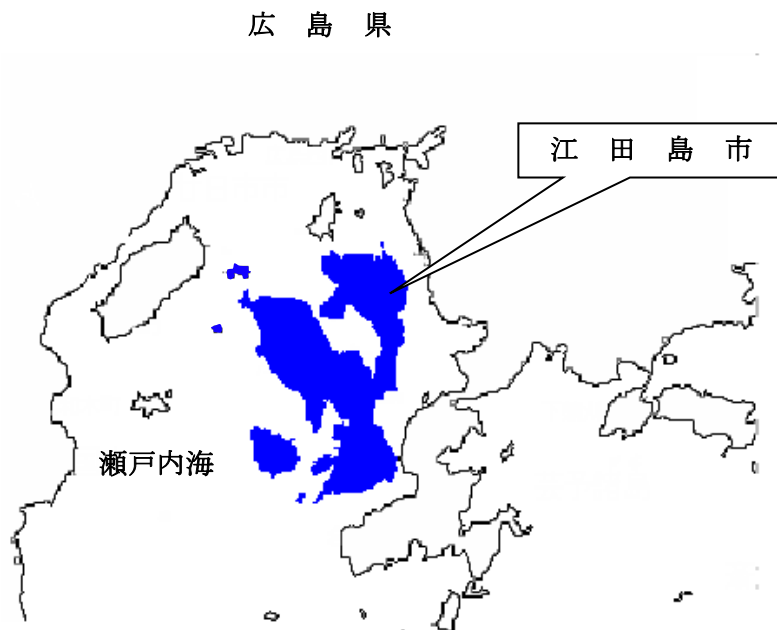
平成元年4月1日に江能広域行政事務組合と江能水道企業団が合併し、江能広域事務組合を設置、住民の生活水準のより一層の向上と地域の経済力の培養を目指し住民福祉の向上を推進した。

平成6年10月1日には音戸消防署及び倉橋出張所が消防・救急業務を開始し常備消防体制の整備を図るとともに、活力に富んだ住みよい地域づくりに努め、本組合の広域的かつ一体的な発展を遂げた。

平成16年11月1日に、江田島町・能美町・沖美町・大柿町が合併し、江田島市を発足させた事により、当消防本部の名称も江田島市消防本部として新たなスタートを切った。

それに伴い、それまで管轄していた音戸町・倉橋町は呉市管轄となり、職員の分割を余儀なくされ、当消防本部職員46名が呉市へ移籍することとなった。

消防事務が6町から4町へ移行し、市民の立場に立った行政サービスの提供及び市民の目線に沿った消防行政を心掛け、円滑な消防業務の運営に努めている。

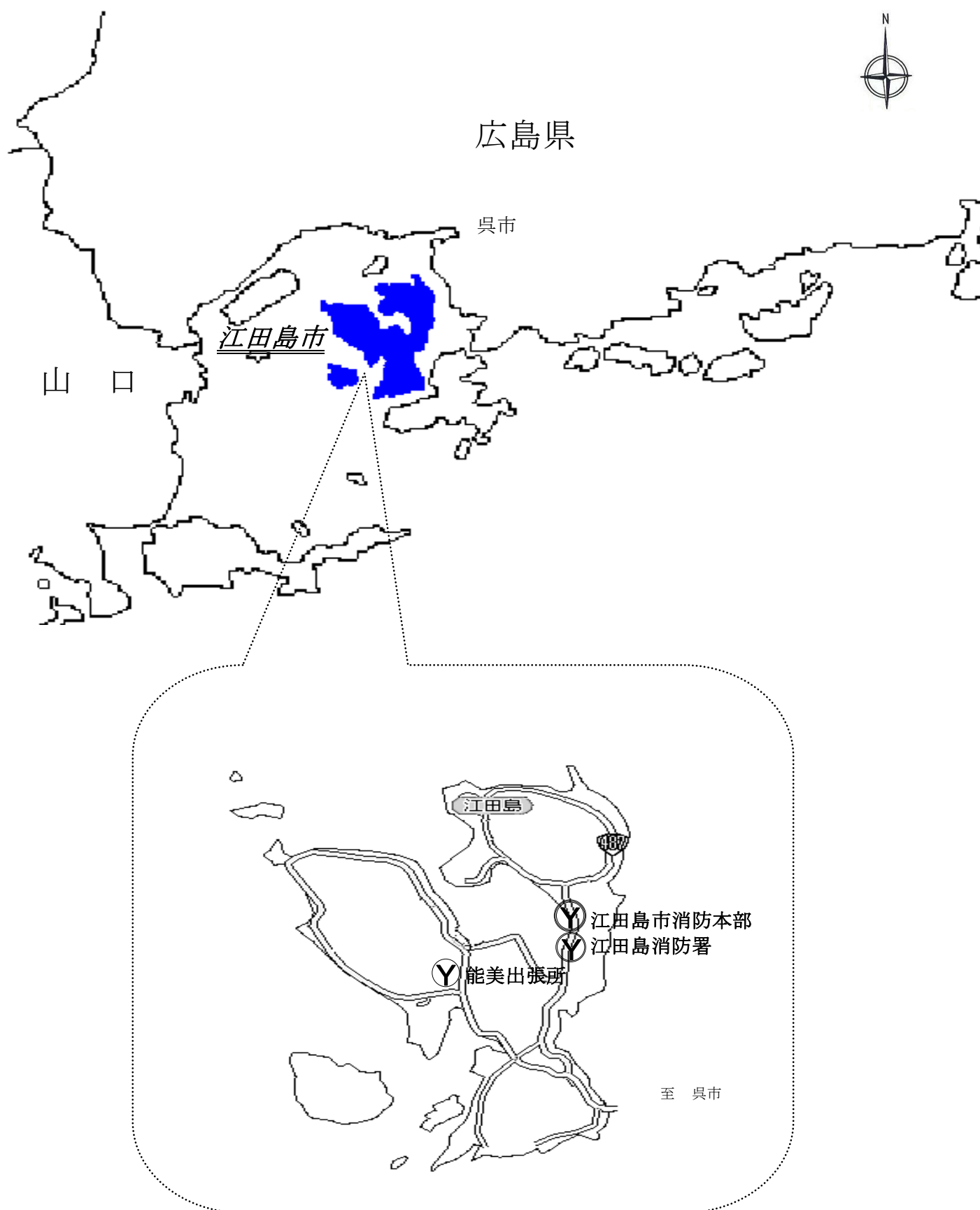


2. 面積・世帯数及び人口

(令和6年4月1日現在)

面 積 (k m ²)	世 帯 数	人 口 (人)
100.65	11,585	20,555

3. 江田島市消防本部・消防署・出張所の配置図



4. 消防の沿革

昭和48年	4月	江能広域行政事務組合の設立により、江能広域消防本部発足
	7月	財団法人日本消防協会から指揮車兼広報車の寄贈を受ける
	8月	財団法人日本消防協会から救急車の寄贈を受ける
	9月	職員8名増員、実員10名
	10月	江能広域消防署発足、消防・救急業務開始（仮庁舎旧江田島町立鷺部小学校）、職員5名増員、実員15名
	11月	広島市及び呉市と救急業務協定を締結 消防ポンプ自動車2台購入
昭和49年	3月	消防無線電話設備設置完了（基地局2・移動局4）
	4月	職員11名増員、実員26名
	7月	鹿川出張所庁舎完成（佐伯郡能美町鹿川1275の3） 消防救急指令装置設置
	8月	消防本部、消防署庁舎完成（江田島町鷺部689の25）
	9月	消防救急一斉指令装置設備119番緊急電話一斉切替完了、無線電話設備移設完了 消防ポンプ自動車1台購入
	10月	新庁舎に江能広域消防署開署、職員7名増員、実員33名 鹿川出張所開所、無線基地局開局、消防無線電話移動局1基整備
	12月	職員3名増員、実員36名 小型動力ポンプ1台購入
昭和50年	4月	職員4名増員、実員40名 日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け鹿川出張所へ配備、救急業務を開始
	5月	日本損害保険協会より中型消防ポンプ自動車の寄贈を受け鹿川出張所へ配備
	8月	職員2名増員、実員42名
	10月	江能広域危険物安全協会発足
昭和51年	2月	小型動力ポンプ積載車2台購入、本署1台、鹿川出張所1台配備
	4月	職員4名増員、実員46名
	6月	財団法人日本消防協会より広報車の寄贈を受ける
	7月	石油コンビナート等災害防止法制定施行に伴い、江田島地区及び能美地区が特別防災区域に指定される
	12月	職員3名増員、実員49名
昭和52年	3月	大型化学消防車購入
	4月	職員7名増員、実員56名
	11月	職員5名増員、実員61名 在日米陸軍司令部との消防相互援助協約締結
昭和53年	3月	本署石油コンビナート用消防車車庫完成、屋上に泡原液備蓄タンク（5,000リットル）設置、大型高所放水車購入
	8月	防災無線設置完了
	11月	広島海上保安部と消防業務協定締結・呉海上保安部と消防業務協定締結

昭和54年	3月	泡原液搬送車購入
	4月	職員2名増員、実員63名
	10月	職員6名増員、実員69名
昭和55年	3月	救急車購入、鹿川出張所へ配備
	7月	指揮車購入、本部へ配備
昭和56年	2月	非常用消防救急指令装置補助盤1台及び録音機2台設置
	3月	鹿川出張所コンビナート用車庫(71㎡)泡原液備蓄タンク(5,000リットル)大型消防車用橋梁(15トン)完成
		鹿川出張所仮眠室及び事務室改築工事完成
		救急車購入、本署へ配備
昭和57年	3月	消防ポンプ自動車2台購入、本署1台、鹿川出張所1台配備
		消防庁長官表彰として、竿頭綬を授与される
	12月	消防専用無線中継所工事完成(大柿町陀峯山山頂)
		指揮(広報)車購入、本部へ配備
昭和58年	5月	特別潜水隊設置、潜水器具8セット購入、本署へ配備
	10月	大型高所放水車分解整備完了
昭和59年	1月	コンプレッサー1基購入、本署へ配備
昭和60年	3月	査察車購入、本署へ配備
	9月	小型動力ポンプ積載車2台購入・本署1台、鹿川出張所1台配備
昭和61年	3月	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け鹿川出張所へ配備
		消防ポンプ自動車1台購入、本署へ配備
	6月	指揮車購入、本部へ配置
昭和62年	2月	消防救急指令装置導入(更新)
	3月	救急車購入、本署へ配備
		消防ポンプ自動車1台購入、鹿川出張所へ配備
	9月	広島県内広域消防相互応援協定締結
昭和63年	3月	救急波整備
		消防救助訓練塔建設
平成元年	3月	救助工作車購入、本署へ配備
	4月	江能広域行政事務組合と江能水道企業団の合併統合により江能広域事務組合を設立
		職員2名欠員補充、実員69名
		鹿川出張所を分署に昇格
平成2年	3月	広島県内航空消防応援協定締結
	4月	職員2名欠員補充、実員69名
	7月	指揮車更新整備、本署へ配備
	11月	職員2名欠員補充、実員69名
	12月	同栄社共済連合会より救急車の寄贈を受け鹿川分署へ配備
平成3年	4月	江能広域事務組合事務局へ1名出向
		職員1名欠員補充、実員69名
		広島県消防学校へ教官として1名派遣

	10月	江能広域事務組合事務局へ1名出向
平成4年	4月	職員定数1名増となり、定数70名 職員2名欠員補充、実員70名
平成5年	3月	広島県消防学校派遣教官1名の帰任
	4月	職員定数2名増となり、定数72名 職員2名欠員補充、実員72名
平成6年	2月	指揮統制車購入、本部へ配備
	3月	高規格救急車購入、本署へ配備
	4月	音戸町・倉橋町が江能広域事務組合に加入し（消防事務のみ）6町となる 職員定数47名増、定数119名 職員採用46名、実員118名
	8月	音戸消防署、倉橋出張所開設準備室を開設 指揮車購入、音戸消防署開設準備室へ配備 職員2名欠員補充、実員119名
	9月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車寄贈、音戸消防署開設準備室配備 消防専用無線中継所工事完成（倉橋町宇和木峠）
	10月	音戸消防署・倉橋出張所開署、消防救急業務開始 職員1名欠員補充、実員119名 本部指令室、江能消防署救急消毒室改修
	11月	職員2名欠員補充、実員119名
	12月	高規格救急車購入、音戸消防署へ配備
平成7年	1月	小型動力ポンプ積載車2台購入、音戸消防署・倉橋出張所へ配備 阪神・淡路大震災へ応援隊を派遣（1～3次・総員24名）
	2月	消防ポンプ自動車2台購入、音戸消防署・倉橋出張所へ配備
	3月	救助工作車購入、音戸消防署へ配備
平成8年	8月	職員1名欠員補充、実員119名
	12月	資機材搬送車購入、本部へ配備
平成9年	4月	職員1名欠員補充、実員119名
平成10年	2月	大型化学消防車更新整備、鹿川出張所へ配備
	10月	救急車更新、鹿川出張所へ配備 消防本部庁舎耐震補強工事完了
平成11年	1月	消防無線中継所更新（陀峯山山頂）
	7月	事務連絡車購入、本部へ配備
	9月	指揮車更新整備、本部へ配備
	10月	鹿川出張所救急消毒室設置
平成12年	3月	消防本部庁舎保安用発電機設置 消防無線県内共通波（基地局）更新
	4月	職員1名欠員補充、実員119名
	7月	広報車（人員搬送車）更新整備、本部へ配備
	9月	救急車更新、倉橋出張所へ配備
	11月	職員1名欠員補充、実員119名

平成13年	3月	はしご付大型高所放水車更新整備
平成14年	2月	小型動力ポンプ積載車更新整備、江能消防署へ配備
	3月	泡原液搬送車更新整備、江能消防署へ配備
	4月	職員3名欠員補充、実員119名
	7月	指揮車更新整備、本部へ配備
	12月	小型動力ポンプ積載車更新整備、鹿川出張所へ配備
平成15年	1月	職員1名欠員補充、実員117名
	3月	消防ポンプ車更新整備、鹿川出張所へ配備
	4月	広島県消防学校へ教官として1名派遣
	6月	広報車更新整備、江能消防署へ配備
平成16年	2月	高規格救急車更新整備、江能消防署へ配備
	4月	職員3名欠員補充、実員118名
	11月	江田島市合併に伴い江能広域消防本部解散 呉市が音戸町及び倉橋町を管轄、それに伴い職員46名が呉市へ移籍 江田島市消防本部発足 職員定数44名減、定数75名、市からの出向3名、実員75名 江能消防署を江田島消防署、鹿川出張所を能美出張所へそれぞれ名称変更 本部に消防防災室新設、指令課を通信指令室へと機構改正 新潟県中越地震による被災地に職員を派遣
平成17年	3月	広島県消防学校派遣教官1名の帰任 消防訓練塔新設
	4月	職員1名欠員、実員74名 江田島市と海上自衛隊1術科学校・呉弾薬整備補給所・呉造修補給所貯油所支所との災害の際における活動覚書を締結
	8月	江田島市と広島海上保安部及び呉海上保安部との消防業務協定締結
	12月	江田島市と在日米陸軍基地管理隊との消防相互援助協約の締結
平成18年	2月	日本消防協会より緊急消防自動二輪車3台の寄贈を受ける（江田島市消防団） 緊急消防自動二輪車の運用に関し、消防本部と消防団で覚書を締結
	3月	消防本部増築、高機能指令センター設置・運用開始 消防ポンプ自動車整備、江田島消防署へ配備
	4月	職員1名欠員補充、職員3名江田島市へ出向、職員1名広島県へ派遣、 実員72名 消防防災室及び通信指令室廃止。本部総務課へ消防団係、本部警防課へ通信指令係を移管
	10月	輸送車整備、江田島消防署へ配備
	12月	ダイユウ技研土木（株）より高規格救急車の寄贈を受け能美出張所へ配備
平成19年	4月	職員1名欠員、実員71名
平成20年	3月	救助工作車更新整備、江田島消防署へ配備 広島県への派遣職員1名帰任
	4月	職員2名欠員補充、実員70名
平成21年	4月	職員2名欠員補充、実員65名

平成22年	3月	指揮統制車更新整備、本部へ配備 消防ポンプ車、高規格救急車更新整備、江田島消防署へ配備
	4月	職員3名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、市からの出向1名、実員64名
	6月	消防訓練塔増設
平成23年	3月	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣（1次から5次隊・総員30名）
	4月	職員5名欠員補充（内2名女性職員を初採用）、職員2名江田島市へ出向、実員64名
	8月	女性職員用仮眠室整備 株式会社広島ホームテレビから陀峯山局舎の寄附を受ける
平成24年	4月	職員4名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、実員65名
平成25年	4月	職員5名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校へ派遣、実員64名
	9月	本署仮眠室の個室化
	12月	軽救急車新規整備、能美出張所へ配備
平成26年	4月	職員5名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校へ派遣、実員65名
	5月	ミニホイローダー整備、江田島消防署へ配備
	8月	広島県内広域相互応援協定に基づく広島市大規模土砂災害への災害派遣 （1次から10次隊・総員60名）
	10月	簡易ヘリポート整備事業 市内10箇所広島ドクターヘリCSへ申請
	11月	（一財）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受け能美出張所へ配備
平成27年	4月	職員4名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校へ派遣、実員67名
平成28年	2月	軽救急車新規整備、江田島消防署へ配備
	3月	広島県消防学校派遣教官1名の帰任 消防救急デジタル無線整備・運用開始
	4月	職員5名欠員補充（内1名女性職員を採用）、職員2名江田島市へ出向、実員67名
	5月	職員1名江田島市へ出向
	7月	職員1名採用、実員68名
平成29年	2月	指揮車更新整備、江田島消防署へ配備
	4月	職員2名欠員補充、職員3名江田島市へ出向、職員1名再任用、実員69名
	7月	7月九州北部豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣（1次から5次隊・総員26名）
平成30年	2月	大型化学高所放水車整備、能美出張所へ配備
	4月	職員2名欠員補充（内1名女性職員を採用）、職員2名江田島市へ出向、職員3名再任用、実員68名
	10月	消防本部とヒラタコーポレーション株式会社江能サービスステーションとの間で、災害時における消防車両への燃料供給に関する協定を締結
	11月	（一社）安芸地区医師会より寄附を受け、高規格救急車を江田島消防署へ配備
平成31年	4月	職員3名欠員補充（内1名女性職員を採用）、職員2名江田島市へ出向、

		職員4名再任用、実員69名
令和 元年	7月	能美出張所新庁舎完成（能美町鹿川1263番地1）
	8月	能美出張所新庁舎運用開始
	10月	消防本部（消防署）新庁舎完成（江田島町鷺部二丁目17番5号）
令和 2年	2月	消防本部（消防署）新庁舎運用開始
	3月	高機能指令センターを更新
	4月	職員2名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校へ派遣、職員3名再任用、実員68名
	12月	高規格救急車更新整備、江田島消防署へ配備
令和 3年	4月	職員3名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校へ派遣、職員1名再任用、実員67名
令和 4年	3月	消防ポンプ車整備、能美出張所へ配備
	4月	職員2名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校へ派遣、職員1名再任用、実員67名
令和 5年	4月	職員3名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、職員1名広島県消防学校から帰任、職員1名再任用、実員66名
令和 6年	4月	職員4名欠員補充、職員2名江田島市へ出向、実員66名

5. 歴代の各役職

(1) 歴代組合管理者及び理事長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
管理者	岡 村 武 男	自昭和48年 4月 1日 至昭和50年 1月 2日	江田島町長
2 代	山 中 淳	自昭和50年 3月 8日 至昭和63年12月31日	江田島町長
3 代	二 井 利 美	自平成 元年 1月30日 至平成 元年 3月31日	江田島町長
理事長	二 井 利 美	自平成 元年 4月 1日 至平成 4年 1月21日	江田島町長
2 代	二 井 利 美	自平成 4年 1月22日 至平成 7年 6月 7日	江田島町長
3 代	平 口 武	自平成 7年 6月 8日 至平成16年10月31日	大 柿 町 長

※江田島市発足に伴い組合解散

(2) 歴代市長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	曾 根 薫	自平成16年11月 1日 至平成20年11月30日	
2 代	田 中 達 美	自平成20年12月 1日 至平成28年12月 4日	
3 代	明 岳 周 作	自平成28年12月 5日 令和 6年 4月 1日 現在	

(3) 歴代組合議会議長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	江 口 昭 三	自昭和48年 4月 1日 至昭和54年 6月18日	大柿町議会議長
2 代	池 田 政 登	自昭和54年 7月28日 至昭和54年12月16日	能美町議会議長
3 代	石河内 儀晴	自昭和55年 3月10日 至昭和56年 3月24日	沖美町議会議長
4 代	江 口 辰 水	自昭和56年 3月24日 至昭和58年 6月18日	大柿町議会議長
5 代	江 口 昭 三	自昭和58年 7月12日 至平成14年11月29日	大柿町議会議長
6 代	道 口 昭 信	自平成14年 12月25日 至平成15年 5月 8日	江田島町議会議長
7 代	伊 藤 富 美 雄	自平成15年 7月25日 至平成16年10月31日	江田島町議会議長

※江田島市発足に伴い組合解散

(4) 歴代江田島市議会議長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	田中達美	自平成16年11月1日至平成20年11月16日	
2代	上田正	自平成20年11月28日至平成25年10月30日	
3代	山根啓志	自平成25年11月12日至平成29年6月1日	
4代	林久光	自平成29年11月1日至令和元年10月28日	
5代	吉野伸康	自令和3年11月1日至令和5年4月1日	
6代	酒永光志	自令和5年10月31日至令和6年4月1日 現在	

(5) 歴代江能広域消防本部消防長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	三村政則	自昭和48年4月1日至昭和53年4月27日	
2代	山中淳	自昭和53年5月4日至昭和53年9月14日	事務取り扱い
3代	岡田明正	自昭和53年9月15日至昭和57年3月31日	広島市消防局より派遣
4代	小野勲	自昭和57年4月1日至昭和59年3月31日	広島市消防局より派遣
5代	川近一郎	自昭和59年4月1日至昭和61年3月31日	広島市消防局より派遣
6代	馬場治幸	自昭和61年4月1日至昭和63年3月31日	広島市消防局より派遣
7代	荒田茂夫	自昭和63年4月1日至平成元年3月31日	広島市消防局より派遣
8代	内土井就雄	自平成元年4月1日至平成3年3月31日	
9代	山口信武	自平成3年4月1日至平成9年3月31日	
10代	山下潔	自平成9年4月1日至平成16年3月31日	
11代	小跡孝廣	自平成16年4月1日至平成16年10月31日	

※江田島市発足に伴い広域消防解散

(6) 歴代江田島市消防本部消防長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	小跡孝廣	自平成16年11月1日至平成21年3月31日	
2代	岡野数正	自平成21年4月1日至平成26年3月31日	
3代	小林勉	自平成26年4月1日至平成28年3月31日	広島市消防局より派遣
4代	丸石正男	自平成28年4月1日至令和6年3月31日	
5代	米田尋幸	自令和6年4月1日至 現在	

(7) 歴代江能広域消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	三 村 政 則	自昭和48年10月 1日 至昭和53年 3月31日	
2 代	山 下 潔	自昭和53年 4月 1日 至昭和60年 6月30日	
3 代	山 口 信 武	自昭和60年 7月 1日 至平成 元年 3月31日	
4 代	山 下 潔	自平成 元年 4月 1日 至平成 6年 7月31日	
5 代	小 沢 晨 人	自平成 6年 8月 1日 至平成 6年 9月30日	

※音戸町・倉橋町の組合加入に伴い名称変更

(8) 歴代江能消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	小 沢 晨 人	自平成 6年10月 1日 至平成 9年 3月31日	
2 代	加 藤 卓 蔵	自平成 9年 4月 1日 至平成11年 3月31日	
3 代	小 跡 孝 廣	自平成11年 4月 1日 至平成14年 3月31日	
4 代	石 上 忠	自平成14年 4月 1日 至平成16年10月31日	

※江田島市発足に伴い名称変更

(9) 歴代江田島消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	石 上 忠	自平成16年11月 1日 至平成20年 3月 31日	
2 代	大 年 正 光	自平成20年 4月 1日 至平成21年 3月 31日	
3 代	坂 口 俊 治	自平成21年 4月 1日 至平成25年 3月 31日	
4 代	空 裕 二	自平成25年 4月 1日 至平成26年 3月 31日	
5 代	丸 石 正 男	自平成26年 4月 1日 至平成28年 3月 31日	次長事務取扱
6 代	木 坂 武	自平成28年 4月 1日 至平成31年 3月 31日	次長事務取扱
7 代	杉 本 敏 久	自平成31年 4月 1日 至令和 3年 3月 31日	次長事務取扱
8 代	平 本 裕 司	自令和 3年 4月 1日 至令和 4年 3月 31日	
9 代	香 川 邦 彦	自令和 4年 4月 1日 至令和 5年 3月 31日	
10 代	米 田 尋 幸	自令和 5年 4月 1日 至令和 6年 3月 31日	
11 代	浅 見 大 生	自令和 6年 4月 1日 至 現在	

(10) 歴代音戸消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	小 跡 孝 廣	自平成 6 年 1 0 月 1 日 至平成 1 1 年 3 月 3 1 日	
2 代	岡 野 数 正	自平成 1 1 年 4 月 1 日 至平成 1 4 年 3 月 3 1 日	
3 代	空 勝 二	自平成 1 4 年 4 月 1 日 至平成 1 6 年 3 月 3 1 日	
4 代	加 藤 卓 蔵	自平成 1 6 年 4 月 1 日 至平成 1 6 年 1 0 月 3 1 日	

※平成 1 6 年 1 1 月 1 日付で呉市へ移管

【総務関係】

1. 江田島市消防本部組織図

市長

副市長

江田島市消防本部

消防長

総務課

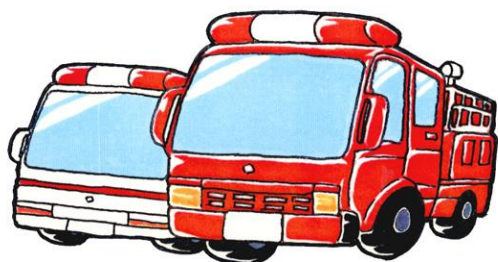
総務係

消防団係

予防課

予防係

指導係



警防課

警防係

救急係

通信指令係

江田島消防署

署長

副署長

第1・2警防係

第1・2消防係

第1・2救急係

能美出張所

出張所長

第1・2警防係

2. 消防本部事務分掌

総務課

総務係

- ・ 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- ・ 消防の総合的企画に関する事。
- ・ 消防相互応援協定に関する事。
- ・ 表彰に関する事。
- ・ 職員の任免、分限、懲戒服務その他身分に関する事。
- ・ 職員の勤務成績の評定に関する事。
- ・ 職員の定数及び配置に関する事。
- ・ 職員の勤務時間その他勤務条件に関する事。
- ・ 職員の保健衛生及び福利厚生に関する事。
- ・ 公務災害に関する事。
- ・ 事務処理の調整に関する事。
- ・ 服務、事務等の監察に関する事。
- ・ 文書の收受、編さん及び保存に関する事。
- ・ 事務改善に関する事。
- ・ 職員の教養に関する事。
- ・ 寄附金及び寄附物品の受領に関する事。
- ・ 庁舎及びその構内取締りに関する事。
- ・ 公印の管守に関する事。
- ・ 共済組合に関する事。
- ・ 財産の取得、維持管理及び処分に関する事。
- ・ 予算、決算及び経理に関する事。
- ・ 予算の執行及び調整に関する事。
- ・ 手数料その他諸収入及び支払に関する事。
- ・ 補助及び起債に関する事。
- ・ 被服及び貸与品並びに給与品の調達及び支給に関する事。
- ・ 物品の購入出納保管及び処分に関する事。
- ・ 職員の給与、諸手当に関する事。
- ・ 書庫の管理に関する事。
- ・ 建物及び工作物の営繕に関する事。
- ・ 課の庶務に関する事。
- ・ 他の課及び係に属さない事。

消防団係

- ・ 消防団員の身分に関する事。
- ・ 報告、通報及び連絡に関する事。
- ・ 教養及び訓練に関する事。
- ・ 消防団の組織及び定員に関する事。
- ・ 会計及び経理に関する事。
- ・ 設備、資機材その他物品の管理に関する事。
- ・ その他必要な事項に関する事。

予 防 課

予 防 係

- ・火災予防対策及び防火指導に關すること。
- ・防火管理者の講習及び育成指導に關すること。
- ・建築許可等の同意に關すること。
- ・建築物の中間検査及び完成検査に關すること。
- ・消防用設備等の検査に關すること。
- ・消防用設備等の各種届出及び報告の受理に關すること。
- ・火災予防の相談に關すること。
- ・火災予防行事に關すること。
- ・火災予防資料の収集及び統計に關すること。
- ・消防設備士等の育成指導に關すること。
- ・少年消防クラブ等の育成指導に關すること。
- ・消防広報、広聴に關すること。
- ・消防機関紙の編集発行に關すること。
- ・広報計画に關すること。
- ・広報資料媒体等の作成及びこれによる啓もう宣伝に關すること。
- ・街頭広報の企画及び推進に關すること。
- ・広報用資器材の運用管理に關すること。
- ・風俗営業施設、浴場等の営業許可の意見書に關すること。
- ・防災処理に關すること。
- ・課の庶務に關すること。

指 導 係

- ・査察計画に關すること。
- ・防火対象物の予防査察及び防火診断に關すること。
- ・危険物製造所等及び特殊施設の予防査察に關すること。
- ・屋外における予防査察及び取締りに關すること。
- ・高圧ガス関係施設及び火薬類を消費する場所等の立入検査に關すること。
- ・特定防火対象物の表示公表に關する事務。
- ・防火対象物、危険物製造所等、少量危険物取扱所及び指定可燃物取扱所の違反処理に關すること。
- ・防火対象物及び危険物製造所等の消防計画等の作成指導及び訓練指導に關すること。
- ・その他防火対象物及び関係団体に対する防火管理指導に關すること。
- ・査察技術の研究及び指導に關すること。
- ・危険物製造所等の許認可及び検査に關する事務。
- ・危険物製造所等の火災予防対策及び調査研究に關すること。
- ・液化石油ガス施設等の指導に關すること。
- ・液化石油ガス設備工事等の届出の受理に關すること。
- ・少量危険物及び指定可燃物等の火災予防措置に關すること。
- ・危険物取扱者等の育成指導に關すること。
- ・危険物等の試験及び研究に關すること。
- ・液化石油ガスの貯蔵施設等の設置の許可に係る意見書に關すること。
- ・危険物製造所等許可施設の県公安委員会への通報に關すること。
- ・危険物流出等の事故に係る原因調査及びその指導調整に關すること。

警防課

警防係

- ・ 警防業務の計画策定に関すること。
- ・ 火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- ・ 消防訓練の研究、調査及び指導に関すること。
- ・ 警防計画の作成に関すること。
- ・ 消防に関する地理水利に関すること。
- ・ 火災原因及び損害の調査に関すること。
- ・ り災証明に関すること。
- ・ 災害対策検討会の開催に関すること。
- ・ 警防業務の統計に関すること。
- ・ 消防団との連絡協調に関すること。
- ・ 大量油流出対策に関すること。
- ・ 宅地造成及び危険箇所の防御対策に関すること。
- ・ 水防活動計画に関すること。
- ・ 水防資材に関すること。
- ・ 消防車両等の維持管理及び運用に関すること。
- ・ 消防機械器具の維持管理及び運用に関すること。
- ・ 機関員の育成指導に関すること。
- ・ 安全管理に関すること。
- ・ 救助対策に関すること。
- ・ 救助技術の研究、指導及び訓練に関すること。
- ・ 救助資器材等に関すること。
- ・ 救助詳報及び救助統計に関すること。
- ・ 課の庶務に関すること。

救急係

- ・ 救急対策に関すること。
- ・ 救急技術の研究、指導及び訓練に関すること。
- ・ 救急資器材等に関すること。
- ・ 救急詳報及び救急統計に関すること。
- ・ 救急医療機関等との連携に関すること。
- ・ 応急手当の普及啓発に関すること。
- ・ 救急証明に関すること。
- ・ 高圧ガス施設の維持管理に関すること。
- ・ 安全管理に関すること。
- ・ 前各号に掲げるもののほか、救急業務に関すること。

通信指令係

- ・ 有線無線の運用及び管理に関すること。
- ・ 通信統制及び通信用語に関すること。
- ・ 通信技術の指導及び訓練に関すること。
- ・ 災害その他の受報及び出動指令に関すること。
- ・ 部隊の管理及び運用に関すること。
- ・ 災害の情報収集及び記録に関すること。
- ・ 消防情報の受報及び指令に関すること。
- ・ 災害等の関係機関への情報連絡に関すること。
- ・ 非常召集に関すること。
- ・ 前各号に掲げるもののほか、通信業務に関すること。

3. 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	庁 舎 の 状 況
江田島市消防本部 江田島消防署	江田島市江田島町 鷺部二丁目17番5号	本館 鉄筋コンクリート造 (2階建) 延べ面積 2,262.53 m² ・1階 車庫、仮眠室、警備室 出動準備室、救急消毒室 トレーニング室、資機材庫 女性職員仮眠室 ・2階 消防長室、事務室 消防団長室、研修室、書庫 通信指令室、食堂 消防訓練塔 鉄筋コンクリート造 (4階建) 延べ面積 159.11 m² ・1階 迷路室 ・2階 火災対応訓練室 ・3階 引揚救助訓練室 ・4階 ロープ渡過訓練室
江田島消防署 能美出張所	江田島市能美町 鹿川1263番地1	鉄筋コンクリート造(2階建) 延べ面積 741 m² ・1階 車庫、事務室、出動準備室 仮眠室、救急消毒室 資機材庫 ・2階 食堂、トレーニング室

4. 消防相互応援協定の締結状況

協 定 の 名 称	締 結 年 月 日	協 定 先
広島県内広域消防相互応援協定	昭和62年9月1日	広島県内市町村・消防一部事務組合
広島県内航空消防応援協定	平成2年3月7日	広島市
広島県防災ヘリコプター応援協定	平成8年7月11日	広島県
災害の際における活動覚書	平成17年4月5日	海上自衛隊1術科学学校・呉弾薬整備補給所
消防業務協定	平成17年8月10日	広島海上保安部・呉海上保安部
消防相互援助協約	平成17年12月6日	在日米陸軍基地管理隊

5. 予算

(1) 一般会計予算における消防予算の割合

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計 予算 A (千 円)	消防予算 B (千円)	$B/A \times 100$ (%)	市民1人当たり の消防費 (円)	市民1世帯 当たりの消 防費 (円)
6	16,310,000	670,258	4.11	32,608	57,856

(2) 消防予算内訳

(単位：千円)

常備消防費	545,007	職員給与費	468,894
		人事管理事業費	13,247
		消防総務一般管理事業費	20,585
		消防施設管理事業費	14,141
		消防活動事業費	28,140
非常備消防費	99,635	消防団活動事業費	65,137
		消防屯所等維持管理事業費	11,682
		消防団車両管理事業費	22,816
防災費	25,616	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業費	25,616
計	670,258		670,258

6. 消防職員の現況

(1) 職員数の推移

(過去5年間・令和6年4月1日現在)

年度別	実員	消 防 吏 員					
		司令長	司 令	司令補	士長	副士長	消防士
令和2年	68	1	9	18	18	1	21
令和3年	67	1	11	19	13	4	19
令和4年	67	1	11	19	13	6	17
令和5年	66	1	11	20	13	7	14
令和6年	66	1	11	18	14	6	16

実員については再任用・出向者含む

(2) 職員の配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分		総 数	消 防 吏 員					
			司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
実 員		66	1	11	18	14	6	16
消 防 本 部	消 防 長	1	1					
	総 務 課	7		2	2	1	2	
	予 防 課	7		2	1	4		
	警 防 課	20		3	8	8	1	
消 防 署	署 長	1		1				
	副 署 長	1(1)		1(1)				
	警 防 係	15(5)			2(2)	3(3)	2	8
	消 防 係	10(5)			3(1)	2(2)	2(2)	3
	救 急 係	7(6)			3(3)	2(2)		2(1)
	出 張 所 長	1		1				
	出張所警防係	11			5	2	1	3
派遣等	市 役 所 消防 学 校	2		2				

※消防署 () 内数字は消防本部兼職

(3) 職員の年齢別状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	総数	消 防 吏 員					
		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
総 数	66	1	11	18	14	6	16
18 歳以上 ～ 20 歳未満	1						1
20 歳以上 ～ 25 歳未満	10						10
25 歳以上 ～ 30 歳未満	10				1	4	5
30 歳以上 ～ 35 歳未満	9				7	2	
35 歳以上 ～ 40 歳未満	8			3	5		
40 歳以上 ～ 45 歳未満	3			2	1		
45 歳以上 ～ 50 歳未満	10		4	6			
50 歳以上 ～ 55 歳未満	7	1	5	1			
55 歳以上 ～ 60 歳未満	8		2	6			
60 歳以上 ～ 65 歳未満							

平均年齢 38.0 歳

(4) 職員の勤続年数状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	総数	消 防 吏 員					
		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
総 数	66	1	11	18	14	6	16
5 年未満	11						11
5 年以上 ～ 10 年未満	12				2	5	5
10 年以上 ～ 15 年未満	12			1	10	1	
15 年以上 ～ 20 年未満	3			2	1		
20 年以上 ～ 25 年未満	5		1	3	1		
25 年以上 ～ 30 年未満	3		1	2			
30 年以上 ～ 35 年未満	19	1	9	9			
35 年以上	1			1			

7. 教 養

(過去 5 年間)

機 関 名	年 度 別		5	4	3	2	1	
	総 数		9	11	9	9	12	
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科							
	幹部科（幹部研修科含む）		1				1	
	警 防 科							
	予 防 科							
	救 急 科							
	救 助 科							
	防災実務管理者コース							
	国 民 保 護 コ ー ス							
広 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育 科		2	3	2	2	3	
	専 科 教 育	警 防 科						1
		予 防 査 察 科（査 察）				1		
		予 防 査 察 科（設 備）		1				
		危 険 物 科						1
		火 災 調 査 科						
		救 急 科（標準課程・Ⅱ課程含む）	2	3	2	2	1	
		救 助 科	1	1	2	2	2	
		特 殊 災 害 科			1			
		幹 部 教 育	初 級 幹 部 科					
	中 級 幹 部 科							1
	上 級 幹 部 科							
	特 別 教 育	救急救命士 教育	スキルアップコース	2	2		1	1
			リーダーシップコース	1	1	1	1	
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習						
		現場指揮者養成教育						
		上級救助隊員コース						
		多数傷病者訓練指導養成コース						1
		救 急 救 命 士 養 成 課 程				1		
	財団法人救急振興財団 救急救命士九州研修所							

8. 職員の公務災害

(過去5年間)

区 分	負 傷 の 状 況								治 療 期 間		
	火災	水災	救急	訓練	体力 錬成	通勤 災害	その他	計	一 週 間 未 満	一ヶ月 未満	一ヶ月 以上
令和元年											
令和2年				1				1			1
令和3年				1				1		1	
令和4年											
令和5年											

9. 職員の特殊技能状況

(令和6年4月1日現在)

資 格 別		総数	消 防 吏 員					
			司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
実 員		66	1	11	18	14	6	16
自動車 運転 免許	大 型 自 動 車	29	1	9	8	9	1	1
	中 型 自 動 車	6				1	3	2
	中 型 限 定 自 動 車	15		2	10	3		
	準 中 型 自 動 車	2						2
	普 通 自 動 車	13				1	1	11
	大 型 自 動 二 輪	8		3	3		1	1
	普 通 自 動 二 輪 車	25		3	9	8	2	3
予 防 技 術 資 格 者 (査 察)		12		4	3	3	2	
予防技術資格者 (消防用設備等)		9		3	2	2	2	
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物)		10		2	4	3	1	
足 場 組 立 て		1				1		
衛 生 管 理 者		5	1	3		1		
危 険 物 取 扱 者		12		3	5	2	2	
消 防 設 備 士		3		1	1	1		
小 型 建 設 機 械 特 別 教 育		20		2	8	8	2	
救 急 II 課 程 修 了 者								
救 急 科 修 了 者		43		8	10	11	6	8
救 急 救 命 士		16		2	8	3		3
応 急 手 当 指 導 員		59	1	9	18	14	6	11
救 助 科 修 了 者		39	1	9	13	8	3	5
陸 上 特 殊 無 線 技 士		33	1	9	9	6	3	5
玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		28		8	10	8	2	
小型移動式クレーン技能講習修了		28		8	10	8	2	
一 級 小 型 船 舶 操 縦 士		2		1			1	
二 級 小 型 船 舶 操 縦 士		18	1	4	9	4		
潜 水 士 免 許 取 得 者		41	1	9	14	10	3	4
酸素欠乏硫化水素危険作業主任者		15	1	5	5	4		
テールゲートリフター操作特別教育		1				1		

【予防関係】

1 防火対象物の現況

(令和6年4月1日現在)

用 途			地 区 別			
			江田島町	能美町	沖美町	大柿町
総 数			351	160	117	204
1 項	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	1		1		
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	27	12	4	3	8
2 項	イ キ ャ バ レ ー 等					
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	1	1			
	ハ 風 俗 営 業 等					
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3 項	イ 待 合 ・ 料 理 店					
	ロ 飲 食 店	37	14	6	6	11
4 項	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	30	11	5		14
5 項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	30	13	5	8	4
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	127	53	24	13	37
6 項	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	16	6	2	1	7
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	12	6	1	2	3
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	18	5	3	1	9
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	1		1		
7 項	小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	28	7	6	4	11
8 項	図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	1	1		
9 項	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等					
	ロ 上 記 以 外 の 公 衆 浴 場	1		1		
10 項	車 両 の 停 車 場 等	2	2			
11 項	神 社 ・ 寺 院 等	12	4	2	1	5
12 項	イ 工 場 ・ 作 業 場	150	52	50	22	26
	ロ 映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ					
13 項	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	9	2	4	2	1
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫					
14 項	倉 庫	79	44	13	9	13
15 項	上 記 以 外 の 事 業 所	128	70	13	18	27
16 項	イ 複 合 用 途 (特 定)	74	32	11	13	18
	ロ 〃 (そ の 他)	47	16	7	14	10

2 建築同意事務

(1) 年度別処理状況

(過去5年間)

地区別	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	5ヵ年平均
総数	17	28	23	18	20	21.2
江田島町	4	11	17	5	14	10.2
能美町	2	2		4	1	1.8
沖美町	2		1		1	0.8
大柿町	9	15	5	9	4	8.4

(2) 地区別・月別処理状況

(令和5年度)

地区別	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	17	2	6		2		3	2	1		1		
江田島町	4	1			1		1	1					
能美町	2								1		1		
沖美町	2						1	1					
大柿町	9	1	6		1		1						
令和4年度	28	3	2	2	4	1	2	3	2	2	1	6	

(3) 地区別建築構造及び工事種別処理状況

(令和5年度)

地区別	構 造 別						工 事 別			
	総 数	耐 火	準 耐 火	防 火	木 造	そ の 他	総 数	新 築	増 築	そ の 他
総 数	18	1	5		2	10	17	14	3	
江 田 島 町	4				2	2	4	3	1	
能 美 町	2					2	2	2		
沖 美 町	2					2	2		2	
大 柿 町	10	1	5			4	9	9		
令 和 4 年 度	32	6	5	1	6	14	28	26	1	1

注1 8条 消防法第8条により防火管理者の選任を必要とする対象物

注2 17条 消防法第17条により消防用設備等の設置を必要とする対象物【注1を除く】

(4) 地区別処理区分状況

(令和5年度)

地 区 別	総 数	確 認 許 可 計 画 通 知				そ の 他			
		同 意	不 同 意	同 意	不 同 意	支障なし	支障あり	同 意	不 同 意
総 数	17	16		1					
江 田 島 町	4	3		1					
能 美 町	2	2							
沖 美 町	2	2							
大 柿 町	9	9							
令 和 4 年 度	27	22				5			

(5) 地区別・用途別処理状況

(令和5年度)

用	途	総 数	地 区 別				令和4年度
			江田島町	能美町	沖美町	大柿町	
総	数	22	4	2	2	14	32
1項	公会堂・集会場等	1				1	
2項	キャバレー・遊技場等						
3項	料理店・飲食店等						
4項	百貨店・マーケット等	1				1	2
5項	旅館・共同住宅等						1
6項	病院・福祉施設等						7
7項	小・中・高等学校等						
8項	図書館・博物館等						
9項	蒸気・熱気浴場等						
10項	車両の停車場等						
11項	神社・寺院等						
12項	工場・作業場等	2		2			5
13項	自動車車庫等						2
14項	倉 庫	1	1				2
15項	上記以外の事業場	4			2	2	6
16項	複 合 用 途						3
そ の 他		13	3			10	4
一 般 住 宅 通 知		17	12			5	19

3 中高層建築物の状況

(令和6年4月1日現在)

用 途		総 数				地 区 別															
						江 田 島 町				能 美 町				沖 美 町				大 柿 町			
		3 階	4 階	5 階	6 階以上	3 階	4 階	5 階	6 階以上	3 階	4 階	5 階	6 階以上	3 階	4 階	5 階	6 階以上	3 階	4 階	5 階	6 階以上
総 数		111	45	9	3	51	30	5		25	5		2	13	5			22	5	4	1
1項	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等																				
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	6		1		4		1		1				1							
2項	イ キ ャ バ レ ー 等																				
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ンス ホール																				
	ハ 風 俗 営 業 等																				
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等																				
3項	イ 待 合 ・ 料 理 店																				
	ロ 飲 食 店	3				2				1											
4項	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	2				1												1			
5項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等		3				1				1				1						
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	25	20	3		7	15	2		13				2	2			3	3	1	
6項	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	2	2	2	1	1	2						1					1		2	
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	3				2												1			
	ハ 老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等			1				1													
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等																				
7項	小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	9	2			3				2				1	1			3	1		
8項	図 書 館 ・ 博 物 館 等																				
9項	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等																				
	ロ 上 記 以 外 の 公 衆 浴 場																				
10項	車 両 の 停 車 場 等																				
11項	神 社 ・ 寺 院 等																				
12項	イ 工 場 ・ 作 業 場	8	1			3				2	1			2				1			
	ロ 映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ																				
13項	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場																				
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫																				
14項	倉 庫	2	2			1	1			1	1										
15項	上 記 以 外 の 事 業 所	20	7	1	1	14	6				1			2				4		1	1
16項	イ 複 合 用 途 (特 定)	19	5	1		9	3	1		4	1			1				5	1		
	ロ (そ の 他)	12	3		1	4	2			1			1	4	1			3			
17項	重 要 文 化 財																				

4 危険物

(1) 地区別危険物製造所等の状況

(令和6年4月1日現在)

製造所等 地区別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
総 数	237	11	43	62	7	13	22	4	42	1	2	30
江 田 島 町	146	11	37	41	3	5	7	4	13		1	24
能 美 町	42		2	20			7		8		1	4
沖 美 町	26		3	1	3	5	2		9	1		2
大 柿 町	23		1		1	3	6		12			
令 和 4 年 度	238	11	43	63	7	13	22	4	42	1	2	30

(2) 指定数量の倍数別危険物製造所等の状況

(令和6年4月1日現在)

製造所等 地区別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
総 数	237	11	43	62	7	13	22	4	42	1	2	30
5 倍 以 下	67		8	13	3	6	17	1	5	1		13
5 倍 を 超 え 1 0 倍 以 下	36	3	13	7	3			2	2			6
10 " 50 "	58	1	9	9	1	4	5	1	19			9
50 " 100 "	29	4	6	6		3			9			1
100 " 150 "	16	2	7	1					5			1
150 " 200 "	2			1					1			
200 " 1,000 "	6	1		4					1			
1,000 " 5,000 "	1			1								
5,000 " 10,000 "	0											
10,000 を 超 え る	22			20							2	

(3) 類別危険物製造所等の状況

(令和6年4月1日現在)

類 別	総 数	1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類	混 在
総 数	237	1		2	194	13	7	20
製 造 所	11				1	1		9
貯 蔵 所	屋 内	43	1	1	23	12		6
	屋 外 タ ン ク	62			55		7	
	屋 内 タ ン ク	7			7			
	地 下 タ ン ク	13			13			
	移 動 タ ン ク	22			22			
	屋 外	4			4			
取 扱 所	給 油	42			42			
	販 売	1			1			
	移 送	2			2			
	一 般	30		1	24			5

(4) 地区別・容量別屋外タンク貯蔵所の状況

(令和6年4月1日現在)

容 量 (単 位 : K L)	総 数	地 区 別			
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
総 数	62	41	20	1	
5 未 満	4	3	1		
5 以 上 ~ 10 未 満	10	8	2		
10 以 上 ~ 50 未 満	15	14		1	
50 以 上 ~ 100 未 満	7	6	1		
100 以 上 ~ 150 未 満	1	1			
150 以 上 ~ 200 未 満	2	1	1		
200 以 上 ~ 1000 未 満	2	2			
1,000 以 上 ~ 5,000 未 満	2		2		
5,000 以 上 ~ 10,000 未 満					
10,000 を 超 え る	19	6	13		

(5) 危険物手数料徴収状況

(過去5年間)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総 額	7,736,800	5,995,400	2,622,700	4,803,050	1,301,700
設 置 許 可				104,000	85,000
変 更 許 可	1,607,000	3,422,000	1,077,000	2,046,500	944,000
完 成 検 査 前 検 査 (水 圧)					
完 成 検 査 前 検 査 (水 張)	1,072,000	335,800	345,000	537,000	17,000
完 成 検 査 前 検 査 (基 礎 地 盤)					
完 成 検 査 前 検 査 (溶 接 部)	1,220,000	515,000			
完 成 検 査	99,000	128,000	137,500	253,750	185,500
保 安 検 査	3,540,000	1,500,000	1,020,000	1,770,000	
仮 使 用	48,600	37,800	16,200	59,400	54,000
仮貯蔵・仮取扱	97,200	10,800	27,000	32,400	16,200
コンビナート関係	53,000	46,000			

(6) 石油コンビナート指定地区の危険物製造所等の現況

(令和6年4月1日現在)

区 分			総 数		江 田 島 地 区		能 美 地 区	
					伊 藤 忠 エ ネ ク ス (株) 江 田 島 タ ー ミ ナ ル	鹿 川 タ ー ミ ナ ル (株)		
			施 設 数	数 量 (K L)	施 設 数	数 量 (K L)	施 設 数	数 量 (K L)
総 数			35	1,024,214.82	15	74,356.42	20	949,858.40
貯 蔵 所	合 計		31	819,664.90	13	62,825.50	18	756,839.40
	屋 内	小 計	2	19.91	1	10.51	1	9.4
		第 1 石 油 類	2	1.86	1	0.86	1	1
		第 2 石 油 類		4.30		2.10		2.2
		第 3 石 油 類		12.00		7.00		5
		第 4 石 油 類		1.75		0.55		1.2
	屋 外 タ ン ク	小 計	28	819,635.00	11	62,805.00	17	756,830.00
		第 1 石 油 類	28	455,995.00	11	21,200.00	17	434,795.00
		第 2 石 油 類		363,425.00		41,390.00		322,035.00
		第 3 石 油 類		215.00		215.00		
	屋 外	小 計	1	9.99	1	9.99		
		第 2 石 油 類	1	9.99	1	9.99		
		第 4 石 油 類						
取 扱 所	合 計		4	204,549.92	2	11,530.92	2	193,019.00
	移 送	小 計	2	204,500.00	1	11,500.00	1	193,000.00
		第 1 石 油 類	2	109,500.00	1	11,500.00	1	98,000.00
		第 2 石 油 類		95,000.00				95,000.00
		第 3 石 油 類						
		第 4 石 油 類						
	一 般	小 計	2	49.92	1	30.92	1	19
		第 1 石 油 類	2		1		1	
		第 2 石 油 類						
		第 3 石 油 類		49.92		30.92		19
第 4 石 油 類								

5 査察

(1) 防火対象物査察状況

(令和5年度)

用	途	対 象 数	査 察 件 数	地 区 別			
				江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
総	数	832	336	162	70	48	56
1 項	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	1	1		1		
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	27	16	10	4	2	
2 項	イ キ ャ バ レ ー 等						
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	1					
	ハ 風 俗 営 業 等						
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等						
3 項	イ 待 合 ・ 料 理 店						
	ロ 飲 食 店	37	4	2			2
4 項	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	30	16	8	3		5
5 項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	30	9	1	4	2	2
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	127	35	19	8	4	4
6 項	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	16	8	4			4
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	12	9	5	1	1	2
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	18	10	3	2	1	4
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	1	1		1		
7 項	小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	28	12	2	5	3	2
8 項	図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	1		1		
9 項	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等						
	ロ 上 記 以 外 の 公 衆 浴 場	1					
10 項	車 両 の 停 車 場 等	2	1	1			
11 項	神 社 ・ 寺 院 等	12					
12 項	イ 工 場 ・ 作 業 場	150	58	24	18	11	5
	ロ 映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ						
13 項	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	9	2	1	1		
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫						
14 項	倉 庫	79	35	22	5	4	4
15 項	上 記 以 外 の 事 業 所	128	72	43	9	7	13
16 項	イ 複 合 用 途 (特 定)	74	33	13	3	10	7
	ロ 〃 (そ の 他)	47	13	4	4	3	2
17 項	重 要 文 化 財						

(2) 危険物製造所等査察状況

(令和5年度)

製造所等 地区別		総 数	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
対 象 数		237	11	43	62	7	13	22	4	42	1	2	30
査 察 件 数		85		14	12	4	6	20	1	22	1		5
地 区 別	江 田 島 町	43		12	8	3	2	7	1	7			3
	能 美 町	16		1	3			6		5			1
	沖 美 町	11		1	1	1	2	1		3	1		1
	大 柿 町	15					2	6		7			

6 火薬

(1) 火薬庫施設数

(令和6年4月1日現在)

区 分 \ 地 区 別	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
総 計	29	29			
火 薬 庫 数	28	28			
火 薬 庫 外 貯 蔵	1	1			

(2) 火薬類消費場所

(令和6年4月1日現在)

地 区 別	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
消 費 場 所 数	3			2	1

7 高圧ガス

(1) 高圧ガス施設数

(令和6年4月1日現在)

区 分 \ 地 区 別	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町
総 計	79	38	18	9	14
第 1 種 製 造 (一 般)	4	2	1	1	
第 1 種 製 造 (L P)	2	1	1		
第 2 種 製 造 (一 般)	10	5	2	1	2
第 2 種 製 造 (冷 凍)	30	16	8		6
第 1 種 貯 蔵 (一 般)	1	1			
第 2 種 貯 蔵 (一 般)	2		1	1	
第 2 種 貯 蔵 (L P)	1		1		
特定高圧ガス消費 (一般)	4	1	1	2	
特定高圧ガス消費 (L P)	1		1		
販 売 所 (一 般)	8	5		1	2
販 売 所 (L P)	16	7	2	3	4

8 申請・届出

(1) 各種届出事務処理状況

(令和5年度)

区 分	総 数	地 区 別				令 和 4 年 度
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	908	410	152	118	228	936
消 防 用 設 備 等 計 画 書	6		2	2	2	11
消 防 用 設 備 等 着 工 届	29	13	1	6	9	37
消 防 用 設 備 等 設 置 届	39	21	3	5	10	34
免 除 申 請	2				2	9
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	57	36	3	8	10	62
防 火 管 理 者 選 解 任 届	52	24	7	7	14	39
消 防 計 画 書	75	28	15	11	21	59
点 検 結 果 報 告 書	285	119	56	37	73	415
防 火 対 象 物 定 期 点 検	27	15	5	1	6	14
特 例 認 定 申 請						
自 衛 消 防 訓 練 通 知	239	116	43	26	54	162
管 理 権 限 者 変 更 届	1	1				2
炉 ボ イ ラ ー 等 設 置 届	3	1			2	5
変・発・蓄電設備設置届	12	3	2	2	5	13
水素ガス充てん気球設置届						
圧 縮 ア セ チ レ ン 等 届	6	2	2	1	1	5
火を使用する設備等廃止届	1	1				1
露 店 開 設 等 届	19	7	2	4	6	12
火災とまぎらわしい煙等届	3	1	1		1	5
煙 火 打 揚 届	2	1		1		2
催 物 開 催 届	2		1	1		2
防 管 再 交 付 申 請	1	1				2
消 防 法 令 適 合 通 知 申 請	9	4	1	3	1	12
少量危・指定可燃設置届	7	2	2	2	1	4
少量危・指定可燃廃止届	3	1	1		1	1
灯 油 販 売 取 扱 者 届	2		1	1		4
液 化 石 油 ガ ス 工 事 届	4	1			3	2
特 定 液 石 工 事 事 業 者 届	1		1			
改 善 計 画 (完 了) 報 告 書						1
そ の 他	21	12	3		6	21

(2) 危険物関係事務処理状況

(令和5年度)

区 分	総 数	地 区 別				令 和 4 年 度
		江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	191	91	87	5	8	172
設 置 許 可 申 請						
変 更 許 可 申 請	15	3	10		2	19
設 置 完 成 検 査 申 請						
変 更 完 成 検 査 申 請	11	1	8		2	13
完 成 検 査 前 検 査 (水 圧)						
完 成 検 査 前 検 査 (水 張)	4		4			3
完 成 検 査 前 検 査 (基 礎 地 盤)						
完 成 検 査 前 検 査 (溶 接 部)	2		2			1
保 安 検 査 申 請	4		4			2
仮 使 用 承 認 申 請	9	2	5		2	7
仮 貯 蔵 仮 取 扱 承 認 申 請	18	2	16			2
特 例 (令 23 条) 適 用 申 請						
予 防 規 程 認 可 申 請	2	1	1			3
保 安 監 督 者 選 解 任	28	27			1	19
保 安 統 括 管 理 者 選 解 任						
名 称 等 変 更 届	9	6	1	2		10
品 名 数 量 倍 数 変 更 届	9	6	3			10
譲 渡 引 渡 届	2		1	1		
使 用 休 止 再 開 届	17	7	10			17
廃 止 届	1		1			2
軽 易 な 変 更 届	25	17	5	2	1	35
災 害 (事 故) 届						
火 気 使 用 工 事 届	8	6	2			3
改 善 計 画 (完 了) 報 告	2	2				1
コ ン ビ 関 係	9	2	7			9
そ の 他	16	9	7			16

(3) 火薬類関係事務処理状況

(令和5年度)

区 分	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	令 和 4 年 度
総 計	108	101		4	3	99
火 薬 庫 設 置 許 可 申 請						
火 薬 庫 変 更 許 可 申 請	3	3				3
販 売 営 業 許 可 申 請						
火 薬 庫 完 成 検 査 申 請						
火 薬 庫 変 更 完 成 検 査 申 請	3	3				3
火 薬 庫 保 安 検 査 申 請	2	2				2
譲 受 消 費 許 可 申 請	4			3	1	4
譲 渡 許 可 申 請	1	1				2
譲 受 許 可 申 請	3	3				3
煙 火 消 費 許 可 申 請	1	1				3
廃 棄 許 可 申 請	2	2				1
危 害 予 防 規 程 認 可 申 請						
庫 外 貯 蔵 所 指 示 申 請						
火 薬 庫 共 用 許 可 申 請	2	2				7
貯 蔵 火 薬 類 等 変 更 届	6	6				6
保 安 責 任 者 選 解 任 届	2	1			1	2
安 定 度 試 験 報 告	39	39				37
記 載 事 項 変 更 届	17	17				4
軽 易 変 更 届	9	9				6
廃 止 届						
消 費 数 量 年 度 報 告 書	4	2		1	1	4
定期自主検査計画変更届	2	2				2
定期自主検査実施結果報告	4	4				4
そ の 他	4	4				6
手 数 料	219,800	192,200		20,700	6,900	236,800

(4) 高圧ガス関係事務処理状況

(令和5年度)

区 分	総 計	江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	令 和 4 年 度
総 計	28	22	5		1	24
製 造 許 可 申 請						
製造施設等変更許可申請	3	3				2
貯 蔵 所 設 置 許 可 申 請						
貯 蔵 所 変 更 許 可 申 請						
製 造 所 完 成 検 査 申 請						
製造所変更完成検査申請	3	3				2
貯 蔵 所 完 成 検 査 申 請						
貯 蔵 所 変 更 完 成 検 査 申 請						
保 安 検 査 申 請						
危 害 予 防 規 程 届	1		1			1
製 造 開 始 届						
製 造 事 業 届						3
二 種 貯 蔵 所 設 置 届						
販 売 事 業 届	1	1				
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	1		1			
製 造 施 設 等 変 更 届	1				1	2
二種貯蔵所位置等変更届						1
軽 微 変 更 届	2	2				
廃 止 届						1
休 止 再 開 届						
承 継 届						
保安統括者選解任届	3	3				2
保安技術者等選解任届	3	3				2
保 安 検 査 受 験 届	3	2	1			5
保 安 検 査 記 録 届	2	2				
保 安 検 査 結 果 報 告 届	4	3	1			2
事 故 報 告 届						
そ の 他	1		1			1
手 数 料	84,000	84,000				127,750

9 広報関係

(1) 消防・救急出前講座状況

(令和5年度)

講 座	回 数	総 数	地 区 別				令 和 4 年 度
			江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	回 数	97	44	25	11	17	69
	延 人 数	3063	1180	981	214	688	2,208
家 庭 , 地 域 ぐるみの火災予防	回 数	26	11	7	5	3	12
	延 人 数	900	165	401	140	194	407
職 場 で 行 う 火 災 予 防	回 数	41	21	9	3	8	34
	延 人 数	1219	509	329	43	338	1211
命 を 救 う 応 急 手 当	回 数	23	7	8	3	5	15
	延 人 数	436	166	113	31	126	265
幼 ・ 少 年 期 の 消 防 講 座	回 数	7	5	1		1	8
	延 人 数	508	340	138		30	325

(2) 消防・防火体験教室状況

(令和5年度)

メ ニ ュ ー 別	回 数	総 数	消 防 ・ 防 火 体 験		当 日 受 付 型		令 和 4 年 度
			江 田 島 町 消 防 署	能 美 町 出 張 所	江 田 島 町 消 防 署	能 美 町 出 張 所	
総 数	回 数	100	26	3	56	15	99
	延 人 数	620	285	37	203	95	929
家 庭 , 地 域 ぐるみの火災予防	回 数	4	3		1		1
	延 人 数	28	25		3		3
幼 ・ 少 年 期 の 消 防 講 座	回 数	2	2				5
	延 人 数	27	27				126
消 防 の 仕 事	回 数	23	1	2	16	4	30
	延 人 数	92	1	22	59	10	171
消 防 庁 舎 見 学	回 数	52	2	1	38	11	38
	延 人 数	263	26	15	137	85	296
職 場 で 行 う 火 災 予 防	回 数	17	17				24
	延 人 数	198	198				328
新 入 社 員 研 修 防 火	回 数	1	1				1
	延 人 数	8	8				5
そ の 他	回 数	1			1		
	延 人 数	4			4		

(3) 広報活動実施状況

(令和5年度)

種 別		総 数	地 区 別				令和4年度
			江 田 島 町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	
総 数	回 数	221	135	51	15	20	200
	人 数	4717	1889	1742	274	812	4203
イ ベ ン ト 等	回 数	1		1			1
	人 数	100		100			54
防 火 防 災 指 導	回 数	64	43	6	6	9	23
	人 数	1501	814	147	163	377	512
消 防 設 備 指 導	回 数	3	2	1			34
	人 数	74	49	25			497
避 難 訓 練	回 数	30	17	9	2	2	32
	人 数	1132	361	596	20	155	1,130
ク ラ ブ 行 事 等	回 数	18	3	8	4	3	17
	人 数	1025	212	629	60	124	937
パ レ ー ド 等	回 数						
	人 数						
職 場 体 験 等	回 数	3	3				5
	人 数	30	30				17
庁 舎 見 学	回 数	74	57	16		1	57
	人 数	375	226	119		30	591
そ の 他	回 数	28	10	10	3	5	31
	人 数	480	197	126	31	126	465
街 頭 広 報	回 数	336	66	106	81	83	571
広 報 誌 等 広 掲 載 誌 回 数	回数	広報誌	H P	Facebook	Instagram	その他	63
	118	12	15	9	70	12	

10 民間防火組織の現況

(1) 少年消防クラブ

(令和6年4月1日現在)

地 区 名	名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
能 美 町	能 美 少 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 28 年 11 月 1 日	11
総 数	1 団 体		11

(2) 幼年消防クラブ

(令和6年4月1日現在)

地 区 名	名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
江 田 島 町	認定こども園えたじま幼年消防クラブ	昭 和 59 年 6 月 2 日	96
能 美 町	認定こども園のうみ幼年消防クラブ	昭 和 62 年 2 月 19 日	98
沖 美 町	認定こども園みたか幼年消防クラブ	平 成 5 年 7 月 16 日	19
大 柿 町	認定こども園おおがき幼年消防クラブ	平 成 26 年 11 月 13 日	84
総 数	4 団 体		297

【警防関係】

1. 消防装備

(1) 消防車両等の配置状況

(令和6年4月1日現在)

配置列		車両名	型式	級別	メーカー	年式	排気量 (cc)	ポンプ メーカー等
本部	総務課	団本部指揮車			日産	R1	1,990	日本消防協会
		事務連絡車			トヨタ	H12	2,980	
		事務連絡車			スズキ	H26	650	
	警防課	指揮統制車			日野	H22	4,000	
	予防課	事務連絡車			日産	R5	2,488	
江田島消防署	本署	指揮車			日産	H29	1,990	
		消防ポンプ自動車	CD- I	A2	日野	H22	4,000	モリタポンプ
		消防ポンプ自動車	CD- I	A2	三菱	H15	5,240	小川ポンプ
		小型動力ポンプ積載車			日野	H14	2,693	
		救助工作車			日野	H20	4,000	
		泡原液搬送車			日野	H14	20,780	モリタポンプ
		資器材搬送車			日野	H18	6,400	
		救急車	高規格		トヨタ	H30	2,690	
		救急車	高規格		トヨタ	R2	2,693	
		救急車	軽救急車		日産	H28	650	
		小型動力ポンプ		B3	トーハツ	H16	617	
		小型動力ポンプ		B2	ラビット	H14	635	タンク車装備
		小型動力ポンプ		B3	ラビット	H14	635	積載車積載
		小型動力ポンプ		C1	ラビット	H20	175	救助工作車積載
		消防活動二輪車			ヤマハ	H18	225	
		ミニホイールローダー	WA40-6		コマツ	H26	2,189	
		スクーター			ホンダ	H22	49	市から
	出張所	消防ポンプ自動車	CD- I	A2	日野	R4	3,500	モリタポンプ
		小型動力ポンプ積載車			日産	H14	1,990	
		広報車			スズキ	H15	650	
		大型化学高所放水車		A1	日野	H30	8,866	モリタポンプ
		救急車	高規格		トヨタ	H26	2,690	
		救急車	軽救急車		三菱	H25	650	
		小型動力ポンプ		B3	ラビット	H14	635	積載車積載
		消防活動二輪車			ヤマハ	H18	225	
		スクーター			ホンダ	R1	49	オキモーターサイクル

(2) 特殊機器等の配置状況

(令和6年4月1日現在)

種 別		総 数	本 部	江田島消防署	
				本 署	出張所
一般救助用器具	かぎ付はしご	2		2	
	三連はしご	2		2	
	救命索発射銃	1		1	
	救助用縛帯	10		8	2
	空気式救助マット	1		1	
重量物排除器具	油圧ジャッキ	1		1	
	大型油圧スプレッダー	1		1	
	マット型空気ジャッキ	1		1	
	可搬ウインチ	2		2	
切断用器具	大型油圧切断機	1		1	
	電動油圧切断機	1			1
	空気鋸	1		1	
	エンジンカッター	3		2	1
	ガス溶断機	1		1	
	チェンソー	6		4	2
	ボルトクリッパー	5		3	2
破壊器具	万能斧	10		8	2
	削岩機	1		1	
	ハンマードリル	1		1	
	ストライカー	1		1	
測定用器具	マルチ型ガス測定器	3		2	1
	検知管式有毒ガス検知器	2		2	
	個人線量計	18		18	
呼吸保護用器具	空気呼吸器	18		10	8
	酸素呼吸器	2		2	
	空気ボンベ	53		38	15
	防塵マスク	47		33	14
隊員保護用器具	化学防護服（陽圧式）	2		2	
	防毒衣	14		11	3
	耐電手袋	8		2	6
	耐電衣・ズボン・長靴	2		1	1
	安全帯	22		14	8
	耐熱服	6		4	2

水難救助用器具	潜水器具一式	6		6	
	救命胴衣	44		30	14
	水中投光器	2		2	
	救命ボート・船外機	2		1	1
	水中カメラ	1		1	
その他の救助用器具	投光器一式	10	1	7	2
	携帯投光器	50	9	27	14
	携帯拡声器	19	6	10	3
	発動発電機	12	3	7	2
高度救助器具	熱画像直視装置	2		1	1
その他	ジェットシューター	17		11	6
	除染テント	1		1	
	手動式噴霧器	1		1	
	インパルス消火システム	1			1
	エアータント	2	2		
	ラインプロポーションナー	1			1
	土のう製作器	2		2	
	送（排）風機	2		2	
救急用資器材	半自動式除細動器	1		1	
	輸液ポンプ	0			
	血圧計	3		2	1
	聴診器	6		5	1
	患者監視装置	5		3	2
	喉頭鏡セット	5		3	2
	ショックパンツ	0			
	自動心マッサージ器	4		2	2
	人工呼吸訓練人形（レサシアン）	2			2
	バックボード一式	5		3	2
	救急バック	9		7	2
	マジックギブス	2		2	0
	人工呼吸訓練人形（アクター911）	30		30	
	AED トレーナー	8		5	3
	AED	8		5	3
	血糖測定器	3		2	1

2. 水利施設

(令和6年4月1日現在)

区 分				総 数	江田島町	能美町	沖美町	大柿町
総 数				933	305	211	179	238
消 火 栓	合 計			530	191	121	97	121
	公 設	地下式	75mm～	372	153	91	72	56
			150mm～	139	37	29	23	50
		地上式	75mm～	16	1	1	1	13
			150mm～	3			1	2
	私 設	地下式	75mm～					
			150mm～					
		地上式	75mm～					
			150mm～					
防 火 水 そう	合 計			314	95	73	65	81
	公 設	20 立方メートル未満		23	10	8	3	2
		20～40 立方メートル未満		89	41	14	24	10
		40 立方メートル以上		135	32	36	18	49
	私 設	20 立方メートル未満		30	3	4	10	13
		20～40 立方メートル未満		17	3	5	5	4
		40 立方メートル以上		20	6	6	5	3
そ の 他	合 計			89	19	17	17	36
	プ ー ル			5	1	2	2	
	海 水 （常 時）			42	12	7	10	13
	池 ・ 沼 ・ その他			42	6	8	5	23

3. 主な災害の状況

(1) 建物火災の記録（過去5年）

年別	出火日時	用途	出火場所	焼損床面積（㎡）	損害額（千円）	死者	負傷者
令和元年	6月2日 15:40	納屋	大柿町柿浦	3	12		
	6月21日 10:50	住宅	能美町鹿川	2	133		1
	11月14日 7:00	店舗	沖美町三吉	0	272		
	11月15日 9:15	住宅	沖美町岡大王	4	212		1
令和2年	6月17日 3:50	作業場	大柿町大君	0	5		
	10月2日 20:00	住宅	江田島町秋月	118	9,799		
	10月26日 0:00	住宅	大柿町柿浦	132	4,914		
令和3年	2月5日 10:49	住宅	江田島町小用	0	39		
	3月14日 2:45	住宅	大柿町大君	106	13,219	1	
	3月31日 15:00	作業場	沖美町三吉	11	842		
	4月13日 16:43	危険物製造所	江田島町小用	0	50		
	4月24日 14:45	住宅	沖美町岡大王	0	28		
	5月4日 2:10	住宅	江田島町秋月	50	6,368		3
	6月12日 13:00	住宅	能美町鹿川	187	16,373		
	7月11日 10:30	住宅	江田島町切串	0	0		1
	9月30日 15:37	物置	能美町中町	7	151		
令和4年	5月17日 13:12	訓練場	江田島町国有無番地	4	13		
	8月30日 23:30	作業場	大柿町大原	126	3,203		
令和5年	10月9日 14:50	店舗	大柿町大原	60	11,543		
	10月19日 14:10	住宅	能美町中町	71	1,185		

(2) 爆発事故の記録

年別	災害発生日時	発生場所	被害状況	死者	負傷者
平成 8 年	4 月 16 日 8:35	江田島町小用 火薬類製造工場	全壊 2 棟・一部破壊 12 棟 損害額 11,311 千円	3	
	11 月 18 日 10:40	江田島町切串 火薬類製造工場	建物等への被害なし		1
	11 月 19 日 14:18	江田島町小用 火薬類製造工場	全壊 40 棟・半壊 14 棟・一部破壊 65 棟 全焼 4 棟・半焼 2 棟・部分焼 1 棟 損害額 846,895 千円		8
平成 10 年	8 月 4 日 6:16	江田島町小用 火薬類製造工場	一部破壊 2 棟 損害額 2,020 千円		1
平成 15 年	11 月 4 日 8:15	能美町高田 ドック係留船舶	機関室、ボイドスペース及び左舷側客室 通路を爆発により破損。 損害額 11,311 千円	1	4
平成 18 年	3 月 27 日 16:58	江田島町小用 火薬類製造工場	全壊 1 棟（廃薬焼却場）・一部破壊 2 棟 損害額 3,001 千円		1

(3) 林野火災の記録（焼損面積1ヘクタール以上）

年別	出火日時	出火場所	焼損面積 (h a)	損害額 (千円)	死者	負傷者
昭和52年	2月7日 16:30	大柿町大原黒嶽	40	60		
昭和53年	2月21日 14:30	沖美町大奈佐美島	1.5	50		
	6月1日 16:00	江田島町宮ノ原	1,004.59	240,656		
昭和59年	3月26日 13:12	大柿町大原	22	1、655		
昭和60年	2月14日 13:55	沖美町岡大王	4	180		
昭和63年	4月6日 10:40	大柿町大君	21	441		
平成3年	5月5日 13:00	大柿町大原	25	1,500		
平成7年	8月6日 11:55	大柿町大君	80	2,250		
平成9年	1月20日 13:30	江田島町タデクサ山	45	2,633		2
	3月24日 11:33	江田島町秋月	2	105		
平成10年	7月18日 8:55	江田島町津久茂	1	159		
平成12年	5月8日 13:00	江田島町大須	2	205		
平成16年	7月24日 16:15	大柿町深江	3	507		1
平成20年	1月6日 14:00	大柿町大原	4	180		2
平成21年	4月13日 11:00	江田島町津久茂	5	277		
令和元年	9月12日 18:15	江田島町大須	4.7	223		

(4) 水害の記録（崖崩れ）

年別	災害発生日時	発生場所	被害状況	倒壊面積 (㎡)	死者	負傷者
昭和 56 年	7 月 4 日 6:32	江田島町 津久茂	1 発生状況 裏山の崖の表層約 50 立方メートルの土砂と竹林及び樹木が地滑り現象により、品覚寺本堂を直撃して倒壊。 2 気象状況 大雨洪水警報発令中 前日からの雨量 152 mm 天候 曇 湿度 100% 風向 南南西 風速 1.2m/sec	344	4	9
平成 30 年	7 月 7 日 時分不明	江田島町 秋月	1 発生状況 土砂崩れにより住宅 1 棟が倒壊。 2 気象状況 大雨特別警報、洪水警報、雷注意報 (秋月観測所) 時間雨量 48mm (6 日 8:00) 累加雨量 453mm 天候 雨 湿度 99% 風向 西南西 風速 1m/sec			3

(5) 水害記録 (冠水)

年別	災害発生日時	発生場所	被害状況	救助者数	死者	負傷者
平成 21 年	7 月 24 日 23:07	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出 不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量 65mm 天候 雨 湿度 99.9% 風向 南東 風速 3.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救 出。	3		
	7 月 24 日 23:19	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出 不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量 67mm 天候 雨 湿度 99.9% 風向 南東 風速 3.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救 出。	2		
	7 月 25 日 0:19	能美町鹿川	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出 不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量 82mm 天候 雨 湿度 99.9% 風向 南東 風速 3.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救 出。	1		
	7 月 25 日 0:20	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床下浸水し脱出 不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水雷高潮注意報 前日からの雨量 82mm 天候 雨 湿度 99.9% 風向 南東 風速 3.7m/sec 3 自力避難困難のため救助艇により救出。	2		
平成 22 年	7 月 14 日 10:15	大柿町大原	1 発生状況 豪雨により雨が床上浸水し脱出 不能となったもの。 2 気象状況 大雨洪水警報、雷注意報 前日からの雨量 132mm 天候 雨 湿度 99.9% 風向 南南東 風速 1.7m/sec 3 自力避難困難のため抱きかかえにより救 出。	1		

平成 30 年	7 月 6 日	江田島町 宮ノ原	1 発生状況 豪雨により関係宅付近が冠水及び土砂の流入があり、脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨特別警報、洪水警報、雷注意報 前日からの雨量 251 mm 天候 雨 湿度 98.3% 風向 東 風速 1.4m/sec 3 自力避難困難のため、介添え等により救出。	15		
	7 月 7 日	能美町 中町	1 発生状況 降雨により関係宅付近が約 120 cm程度冠水しており、脱出不能となったもの。 2 気象状況 大雨特別警報、洪水警報、雷注意報 前日からの雨量 348 mm 天候 雨 湿度 98.6% 風向 西南西 風速 1m/sec 3 自力避難困難のため、消防署及び消防団のボート 2 艇により救出。	37		

【火災統計】

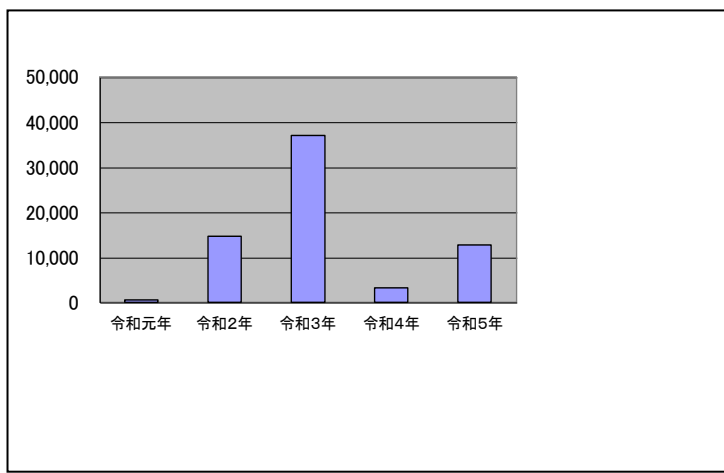
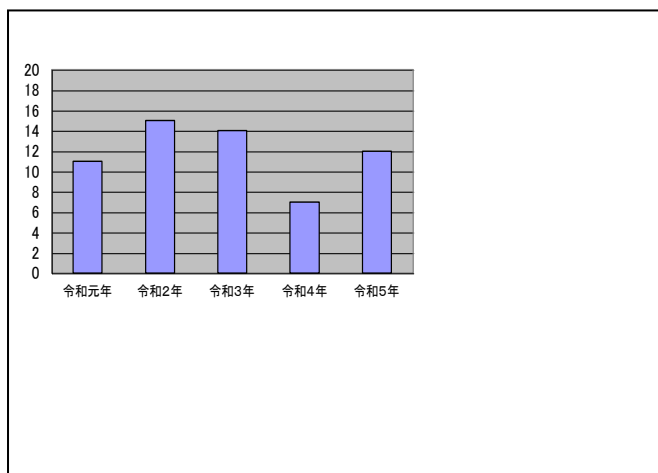
1. 年別火災発生状況

(過去5年間)

	総 件 数	建 物 火 災			林 野 火 災			車両・船舶火災 その他火災		死 者	負 傷 者
		件 数	焼 損 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)		
令和元年	11	4	10	629	1	470	223	6	161	0	4
令和2年	15	3	244	14,718	0	0	0	12	1,752	0	2
令和3年	14	9	445	37,027	1	13	0	4	333	1	4
令和4年	7	2	130	3,216	2	14	0	3	0	0	0
令和5年	12	2	141	13,815	2	6	0	8	1,087	1	1

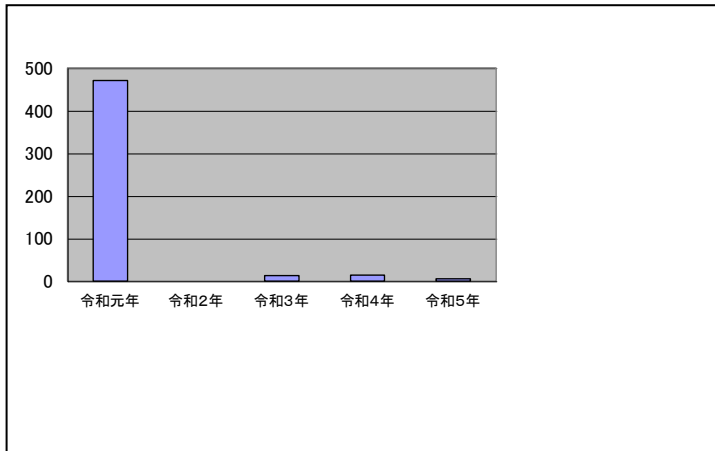
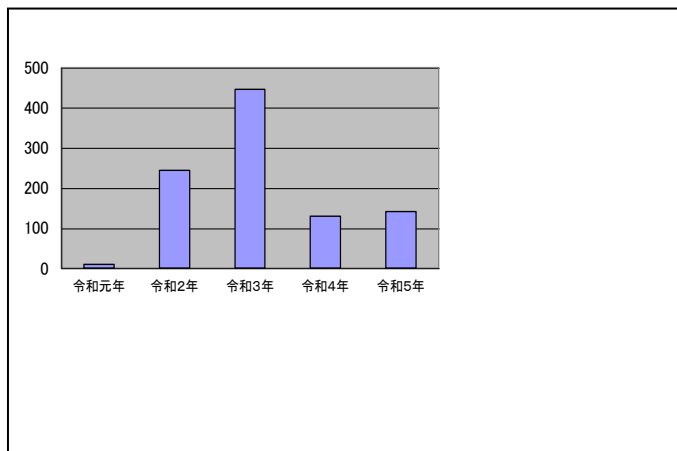
火災件数

建物火災損害額 (千円)



建物火災焼損面積 (㎡)

林野火災焼損面積 (a)



2. 地区別火災発生状況

(過去5年間)

区 分		火災件数							焼損棟数				死傷者		焼損面積	
		総 数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	死 者	負 傷 者	建物 (㎡)	林野 (a)
令和5年	総 数	12	2	2	1			7	1		1	1	1	1	141	6
	江田島町	3						3								
	能美町	4	1					3	1			1			71	
	沖美町															
	大柿町	5	1	2	1			1			1		1	1	70	6
令和4年	総 数	7	2	2				3		1	1				130	14
	江田島町	1	1								1				4	4
	能美町	2		1				1								
	沖美町															
	大柿町	4	1	1				2		1					126	10
令和3年	総 数	14	9	1	1			3	4		9	4	1	4	445	13
	江田島町	5	4					1	1		3	1		4	58	
	能美町	3	2					1	1		2	2			221	
	沖美町	2	2								2				14	
	大柿町	4	1	1	1			1	2		2	1	1		152	13
令和2年	総 数	15	3		2			10	3			3	2		253	
	江田島町	3	1		1			1	1			1			121	
	能美町	2						2								
	沖美町	2						2					2			
	大柿町	8	2		1			5	2			2			132	
令和元年	総 数	11	4	1		1		5	1		3			4	10	470
	江田島町	2		1				1								470
	能美町	3	1			1		1			1			2	2	
	沖美町	4	2					2			2			2	5	
	大柿町	2	1					1	1						3	

3. 月別火災件数

(令和5年中)

月別	火 災 件 数							焼損面積		負傷者	損害額（千円）		
	総数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物（㎡）	林野（a）		総額	建物	建物以外
総数	12	2	2	1			7	141	6	1	12,786	12,728	58
1月	2						2						
2月	2		1				1		4				
3月	3			1			2				56		56
4月													
5月													
6月													
7月	1						1						
8月											2		2
9月													
10月	3	2					1	141		1	12,728	12,728	
11月													
12月	1		1						2				
前年数	7	2	2				3	130	14		3,216	3,166	50

4. 出火原因別火災件数

(令和5年中)

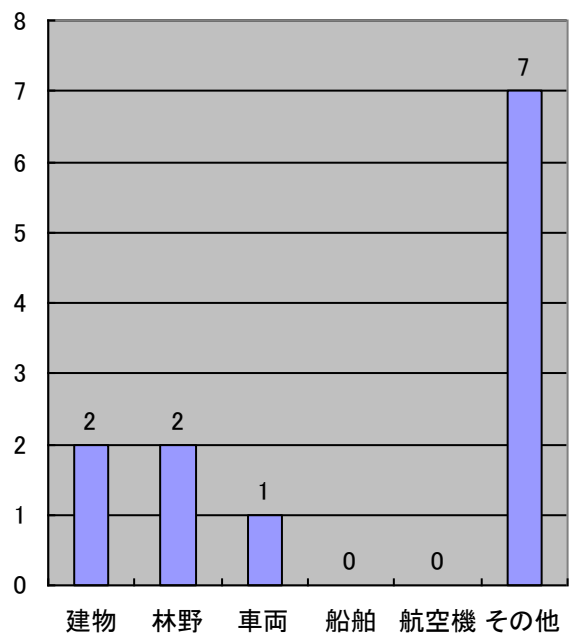
月別	総数	たき火		たばこ		風 呂		放火（疑い）	電気・ガス	不明	その他
		延焼	飛火	投捨て	放置	かまど	取灰				
総数	12	8	1							2	1
1月	2									1	1
2月	2	2									
3月	3	2	1								
4月											
5月											
6月											
7月	1	1									
8月											
9月											
10月	3	2								1	
11月											
12月	1	1									

5. 時間別火災発生状況

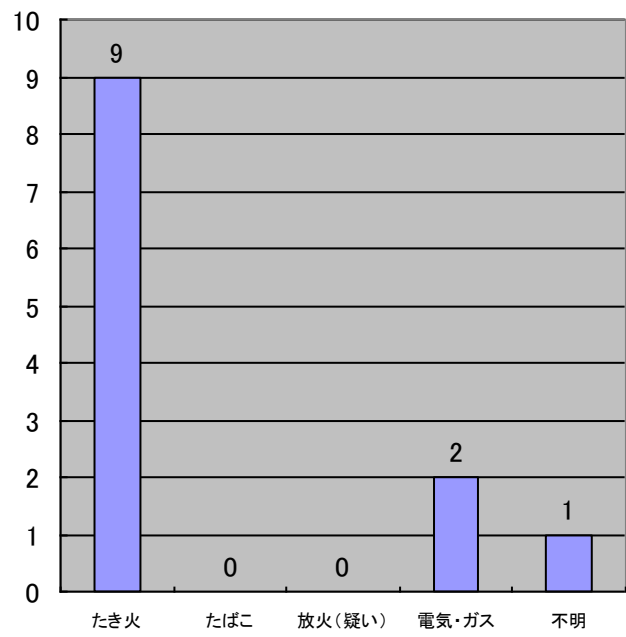
(令和5年中)

時間別	火災件数							焼損棟数								焼損面積		損害額（千円）	
	総数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	火元棟				延焼棟				建物 (㎡)	林野 (a)	建物	建物以外
								全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや				
総数	12	2	2	1			7	1		1					1	141	6	12,728	58
0～1																			
1～2																			
2～3																			
3～4																			
4～5																			
5～6	1						1												
6～7																			
7～8																			
8～9	1		1																
9～10																			
10～11	1						1												
11～12	1			1															56
12～13	1						1												
13～14	2						2										2		
14～15	2	1	1					1							1	71	4	1,185	
15～16	2	1					1			1						70		11,543	2
16～17																			
17～18	1						1												
18～19																			
19～20																			
20～21																			
21～22																			
22～23																			
23～24																			
不明																			

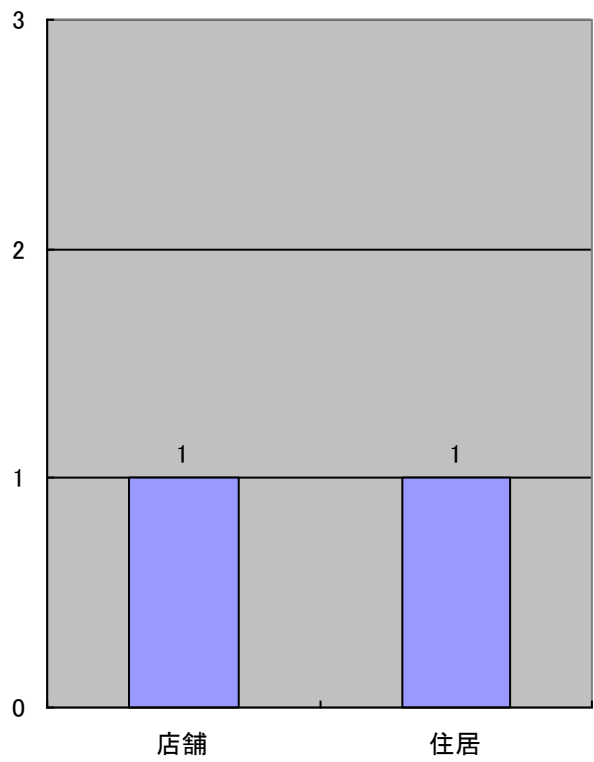
第1図 火災種別件数



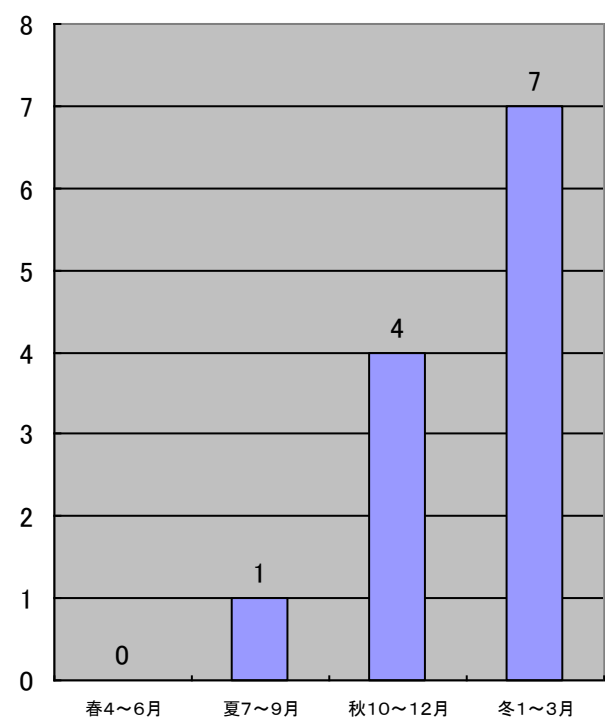
第2図 出火原因別火災件数



第3図 建物用途別火災件数



第4図 四季別火災件数



【救急・救助統計】

1. 救急出動件数及び搬送人員

(令和5年中)

区 分		総 数	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	管 外
総 数	出場件数	1,730	607	528	236	359	
	搬送人員	1,625	571	493	216	345	
火 災	出場件数						
	搬送人員						
自 然 災 害	出場件数						
	搬送人員						
水 難	出場件数	2	1		1		
	搬送人員	1	1				
交 通	出場件数	56	15	23	7	11	
	搬送人員	54	14	20	8	12	
労 働 災 害	出場件数	12	3	4	2	3	
	搬送人員	12	3	4	2	3	
運 動 競 技	出場件数	7	2	3		2	
	搬送人員	6	2	3		1	
一 般 負 傷	出場件数	321	111	93	57	60	
	搬送人員	298	104	88	52	54	
加 害	出場件数	4	1			3	
	搬送人員	3				3	
自 損 行 為	出場件数	6	3	1	1	1	
	搬送人員	5	3		1	1	
急 病	出場件数	961	353	281	165	162	
	搬送人員	887	326	256	151	154	
その他	出場件数	361	118	123	3	117	
	搬送人員	359	118	122	2	117	

2. 月別救急出動件数及び搬送人員

(令和5年中)

区 分		総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	出場件数	1730			2	56	12	7	321	4	6	961	361
	搬送人員	1625			1	54	12	6	298	3	5	887	359
1 月	出場件数	156				3			28	1		95	29
	搬送人員	149				3			25	1		91	29
2 月	出場件数	146				6		1	25		1	82	31
	搬送人員	129				5			23		1	70	30
3 月	出場件数	129					3		28		1	63	34
	搬送人員	120					3		28		1	54	34
4 月	出場件数	143				1	1		27			72	42
	搬送人員	133				1	1		25			65	41
5 月	出場件数	133			2	8		1	26			73	23
	搬送人員	119			1	6		1	24			64	23
6 月	出場件数	101				5	1	1	17	1		50	26
	搬送人員	97				5	1	1	16	1		47	26
7 月	出場件数	145				7	1		26		1	87	23
	搬送人員	137				7	1		24		1	81	23
8 月	出場件数	193				3	2	1	34	1	1	112	39
	搬送人員	183				3	2	1	32			106	39
9 月	出場件数	151					1	1	27	1		88	33
	搬送人員	142					1	1	25	1		81	33
10 月	出場件数	150				11	1	1	34			74	29
	搬送人員	146				11	1	1	33			71	29
11 月	出場件数	144				9	1		24			84	26
	搬送人員	139				10	1		21			81	26
12 月	出場件数	139				3	1	1	25		2	81	26
	搬送人員	131				3	1	1	22		2	76	26

3. 曜日別救急出動件数及び搬送人員

(令和5年中)

区 分		総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	出場件数	1,730			2	56	12	7	321	4	6	961	361
	搬送人員	1,625			1	54	12	6	298	3	5	887	359
日	出場件数	215			1	14		2	50			134	14
	搬送人員	189			1	12		1	46			116	13
月	出場件数	268			1	6	1	1	39		1	142	77
	搬送人員	263				7	1	1	37		1	139	77
火	出場件数	261				7		2	46	1	1	134	70
	搬送人員	249				7		2	41	1	1	127	70
水	出場件数	248				5	4	1	46	2		130	60
	搬送人員	236				5	4	1	45	1		120	60
木	出場件数	223				4	2		48		1	130	38
	搬送人員	211				4	2		45		1	121	38
金	出場件数	245				9	2		42	1	3	127	61
	搬送人員	231				9	2		39	1	2	118	60
土	出場件数	270				11	3	1	50			164	41
	搬送人員	246				10	3	1	45			146	41

4. 時間別救急出動件数及び搬送人員

(令和5年中)

区 分		総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	出場件数	1,730			2	56	12	7	321	4	6	961	361
	搬送人員	1,625			1	54	12	6	298	3	5	887	359
0～2	出場件数	52							17	1		33	1
	搬送人員	47							15			31	1
2～4	出場件数	45				1			6		1	35	2
	搬送人員	42				1			3		1	35	2
4～6	出場件数	58							12			46	
	搬送人員	52							12			40	
6～8	出場件数	110				6			32		1	68	3
	搬送人員	98				6			30			59	3
8～10	出場件数	256			1	10	3	1	56		1	136	48
	搬送人員	249				10	3	1	55		1	131	48
10～12	出場件数	301				9	2	2	43	1	1	137	106
	搬送人員	291				9	2	2	40	1	1	130	106
12～14	出場件数	194				5	3	1	25		1	88	71
	搬送人員	181				5	3		24		1	78	70
14～16	出場件数	182				6	2	1	33	1		103	36
	搬送人員	172				6	2	1	31	1		95	36
16～18	出場件数	215				7	1		39			101	67
	搬送人員	203				7	1		39			90	66
18～20	出場件数	138				6	1	1	28			81	21
	搬送人員	123				4	1	1	23			73	21
20～22	出場件数	108			1	6		1	17			79	4
	搬送人員	102			1	6		1	15			75	4
22～24	出場件数	71							13	1	1	54	2
	搬送人員	65							11	1	1	50	2

5. 年齢区分別搬送人員

(令和5年中)

区 分	総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	1,625			1	54	12	6	298	3	5	887	359
新生児												
乳幼児	39							2			36	1
少 年	24				2		3	6			12	1
成 人	286				22	6	3	47	2	3	156	47
高齢者	1,276			1	30	6		243	1	2	683	310

6. 傷病程度別搬送人員

(令和5年中)

区 分	総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	1,625			1	54	12	6	298	3	5	887	359
死 亡	28							1			27	
重 症	152				2			15			94	41
中等症	964			1	29	8	2	161	2	4	471	286
軽 症	481				23	4	4	121	1	1	295	32
その他												

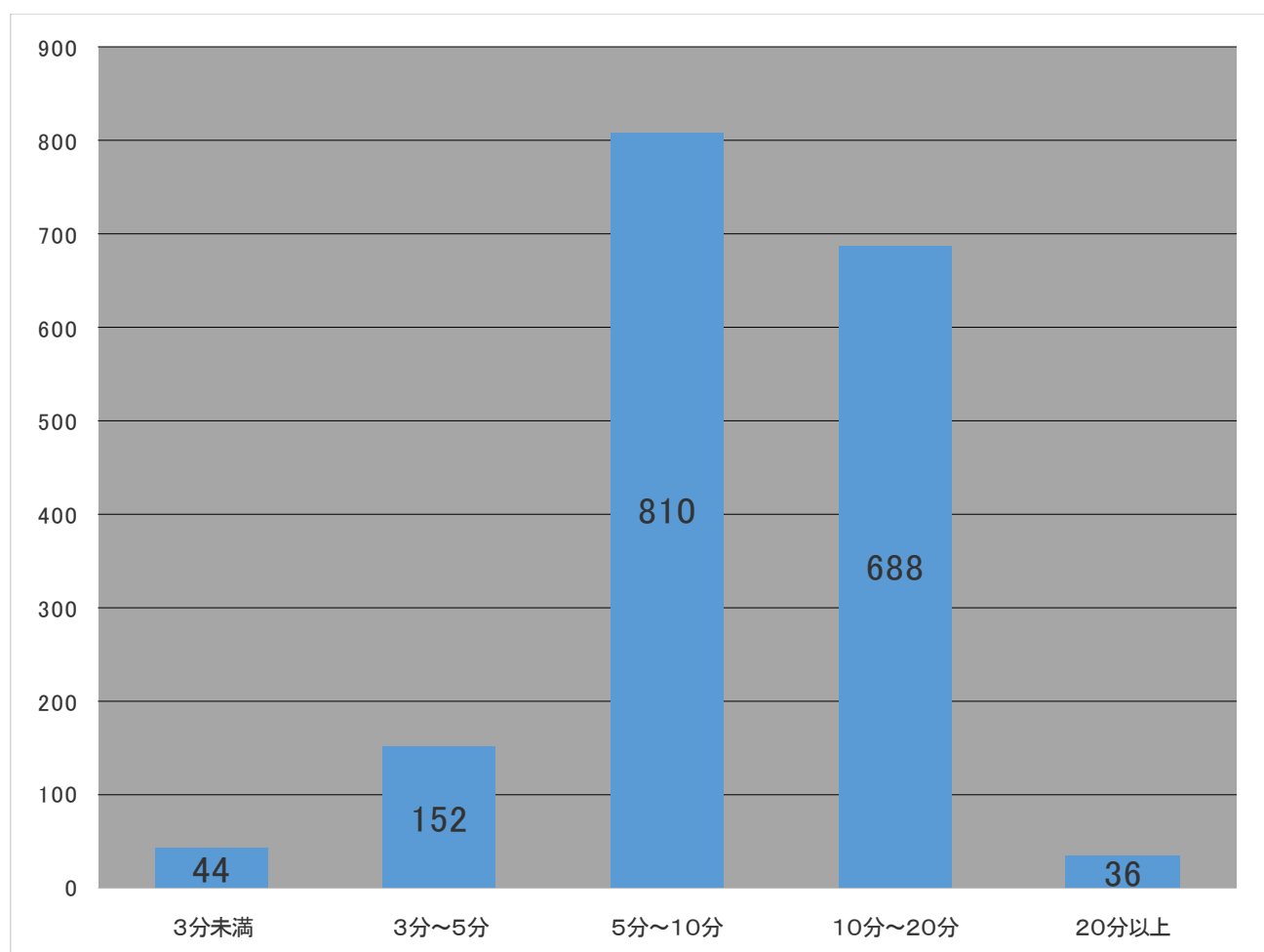
7. 傷病程度・年齢区分別搬送人員

(令和5年中)

区 分	総 数	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者
総 数	1,625		39	24	286	1,276
死 亡	28				2	26
重 症	152			1	16	135
中等症	964		12	10	142	800
軽 症	481		27	13	126	315
その他						

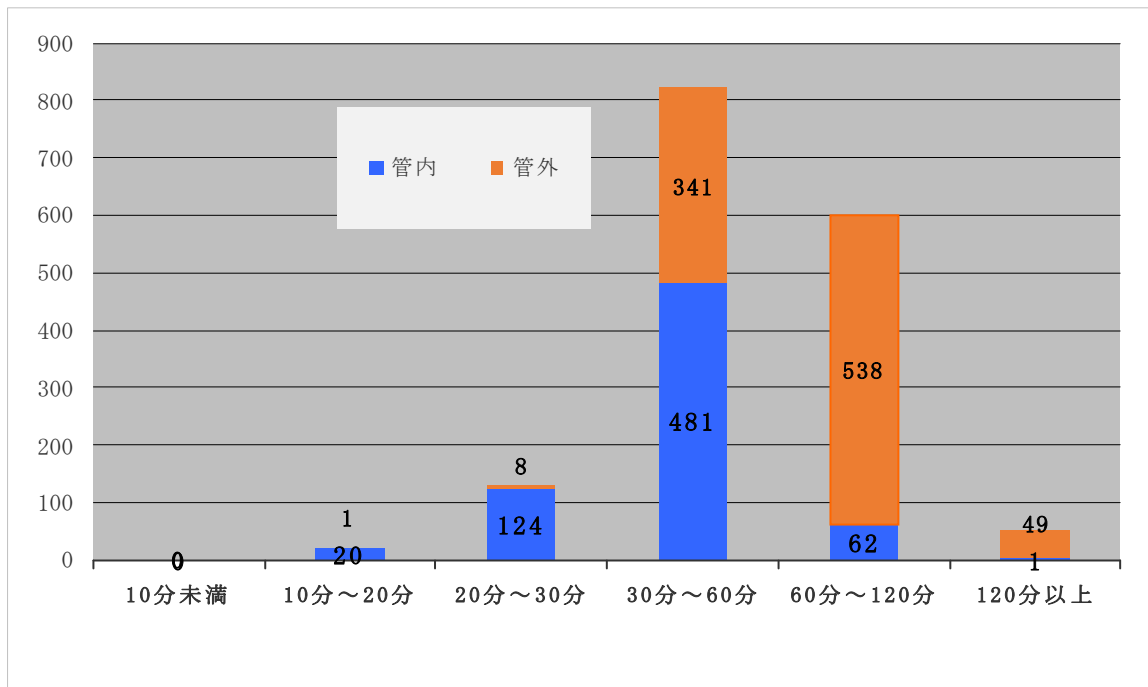
8. 現場到着所要時間別出動件数 (覚知から現場到着まで)

(令和5年中)



9. 病院収容所要時間別搬送人員（覚知から病院到着まで）

（令和5年中）



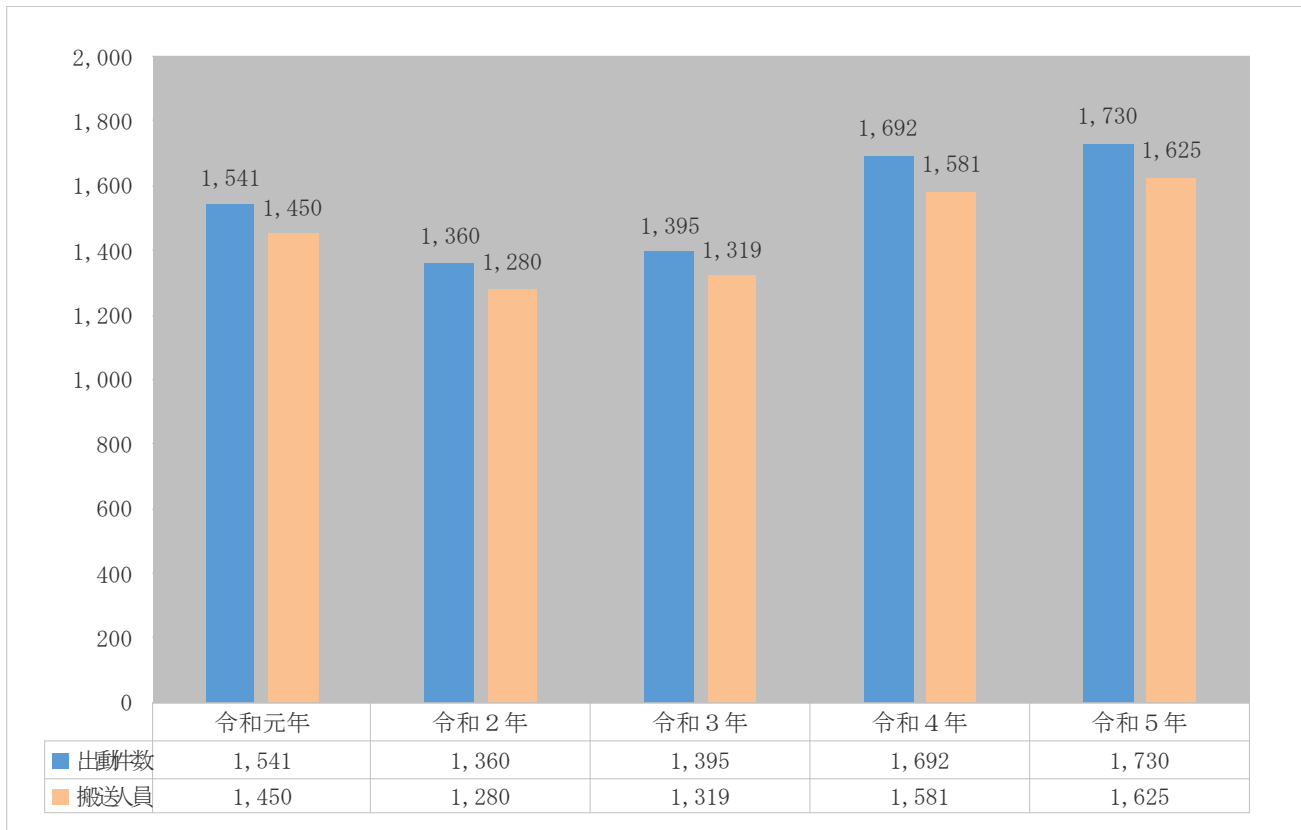
10. 救急隊員の行った応急処置

（令和5年中）

区分	総数	心肺蘇生	固定	酸素吸入	血中酸素	聴診	止血	気道確保	心電図	血圧測定	その他
総数	5,864	39	30	389	1587	633	31	32	708	1579	836
急病	3,253	37		236	852	356	3	31	451	846	441
交通	209		19	10	54	23	5		13	54	31
一般負傷	921	1	11	18	295	77	20	1	44	293	161
その他	1,481	1		125	386	177	3		200	386	203

1 1. 年別救急出動及び搬送人員

(過去5年間)



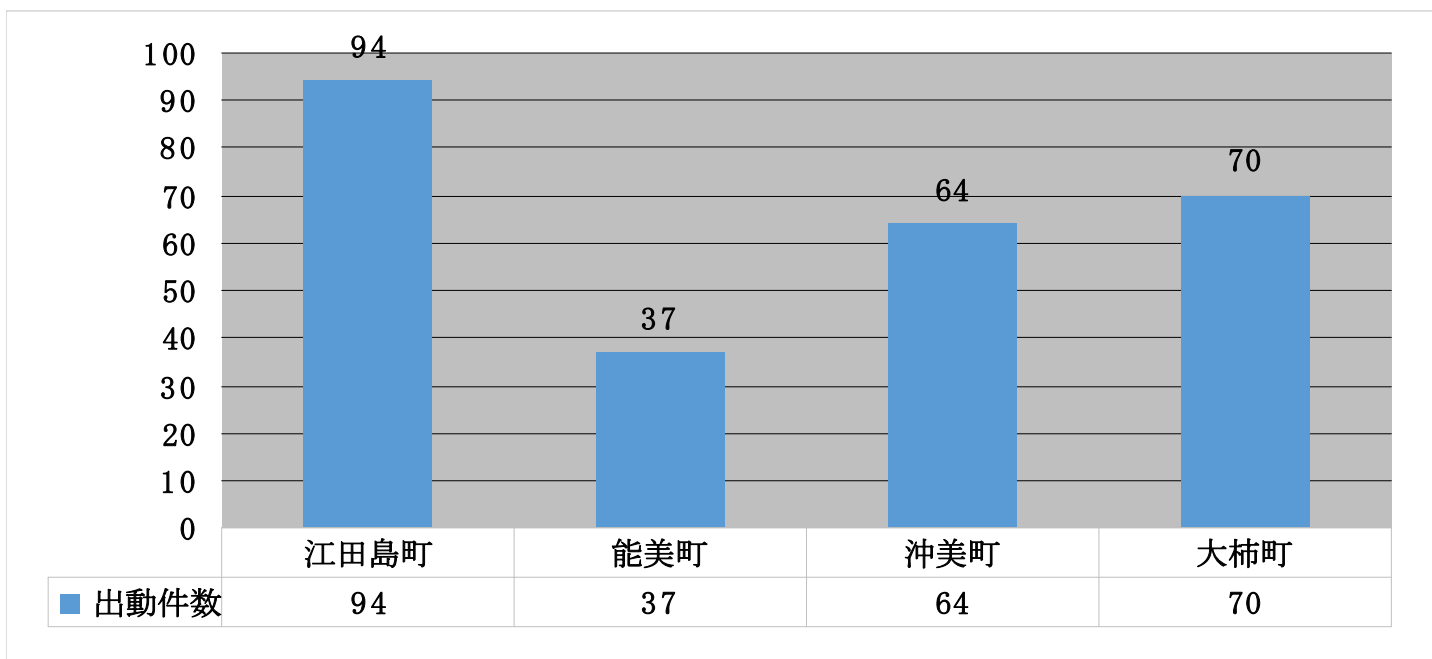
1 2. 救急隊別出場件数及び搬送人員

(令和5年中)

区 分		総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総数	出場件数	1730			2	56	12	7	321	4	6	961	361
	搬送人員	1625			1	54	12	6	298	3	5	887	359
鷲 部 救急隊	出場件数	1004			1	37	5	3	181	1	2	551	223
	搬送人員	947			1	34	5	3	169		2	510	223
鹿 川 救急隊	出場件数	726			1	19	7	4	140	3	4	410	138
	搬送人員	678				20	7	3	129	3	3	377	136

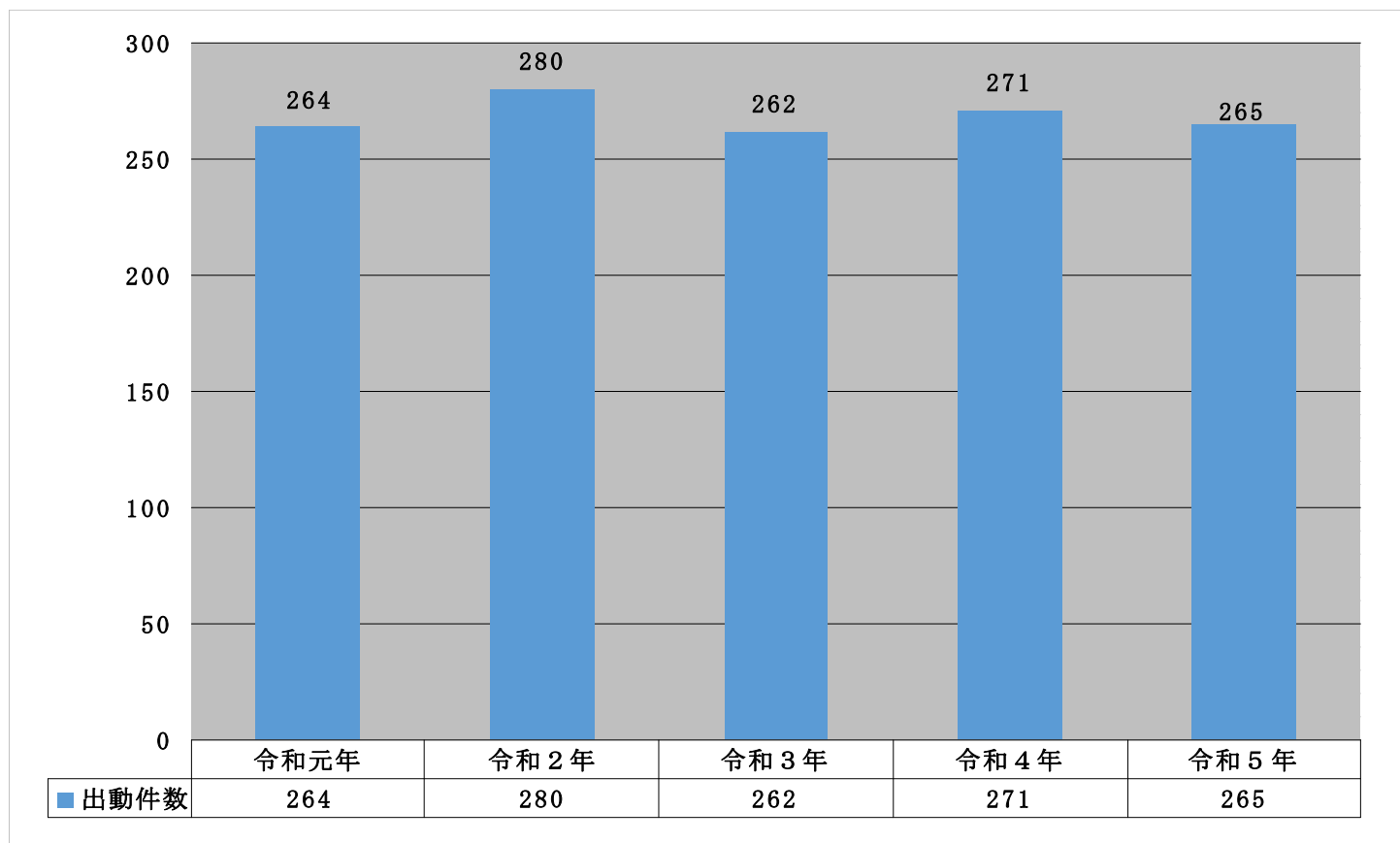
1 3. 救急応援活動の地区別出動件数

(令和5年中)



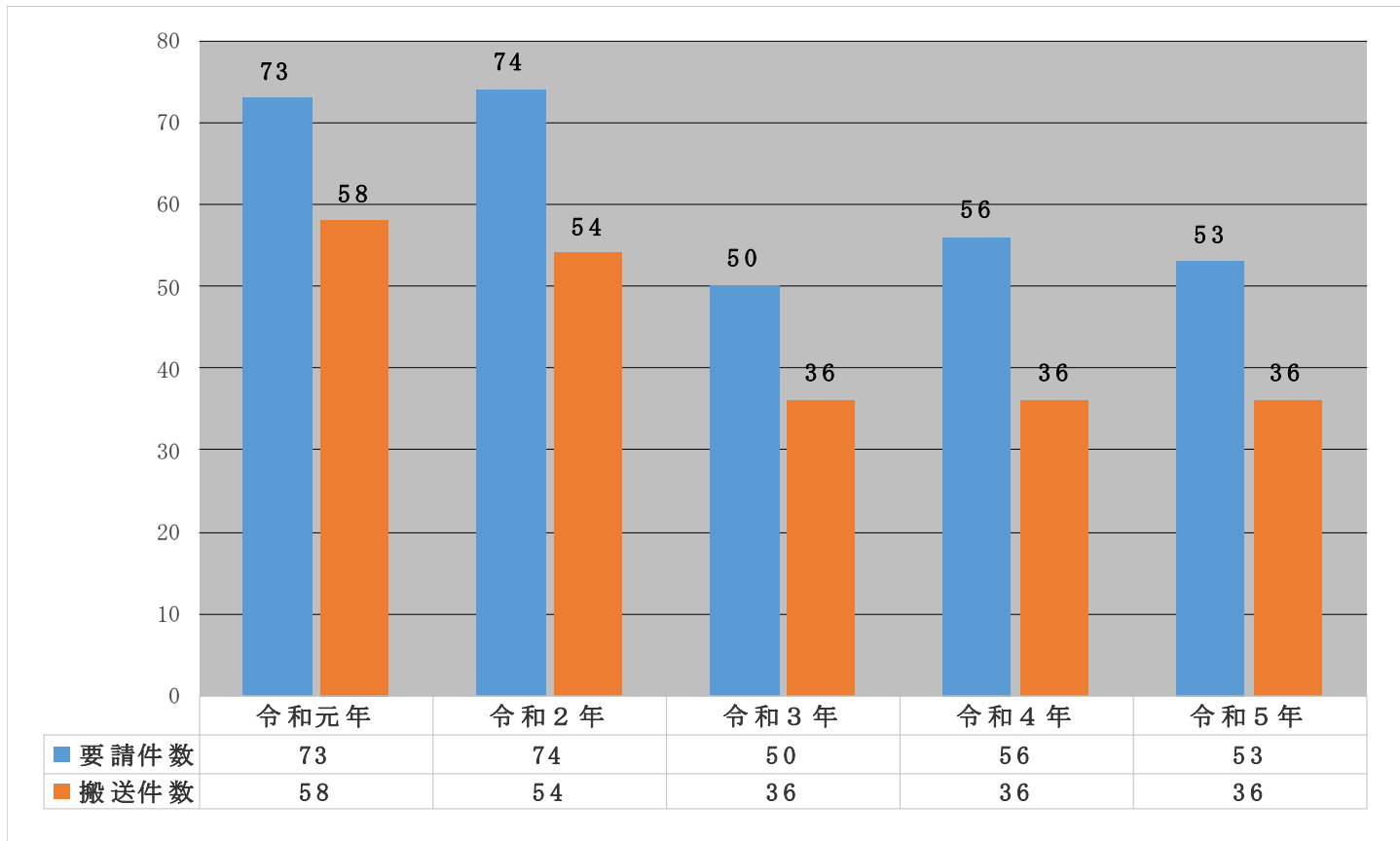
1 4. 救急応援活動の出動件数

(過去5年間)



1 5. ドクターヘリ要請件数及び搬送件数

(過去5年間)



1 6. 普通救命講習の実施状況

(過去5年間)

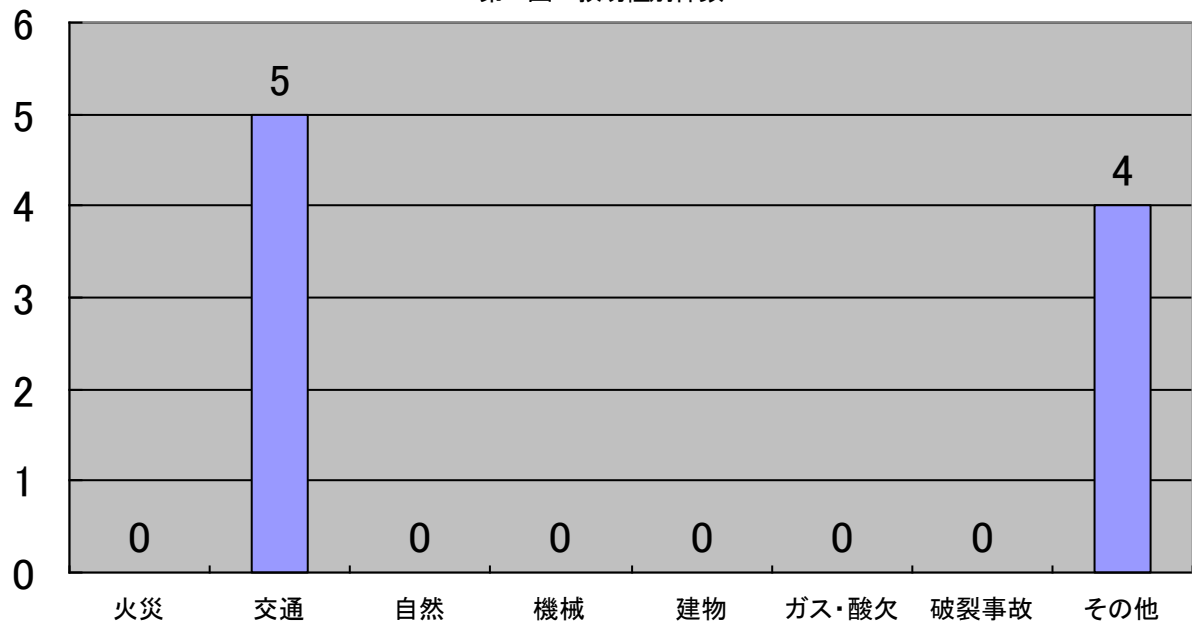
区分	実施回数	修了者数	修 了 者 の 居 住 地				
			江田島町	能美町	沖美町	大柿町	その他
総 数	39	553	160	18	17	103	255
令和元年	11	187	95	2	1	10	79
令和2年	6	67	4		1	4	58
令和3年	6	76	5	4	3	35	29
令和4年	6	44	5	10	5	8	16
令和5年	10	179	51	2	7	46	73

17. 救助出動状況

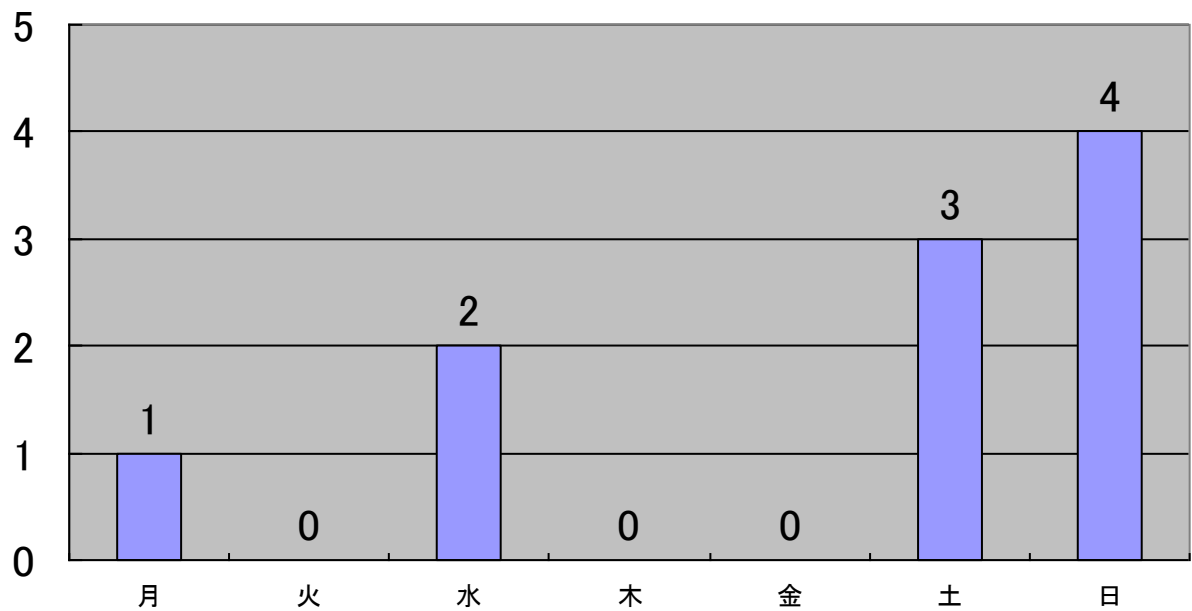
(過去5年間)

区 分		令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
総 計	出場件数	9	6	11	15	18
	救助人員	9	6	10	11	58
火 災	出場件数			2		2
	救助人員			2		0
交 通 事 故	出場件数	5		4	6	4
	救助人員	5		2	5	2
水 難 事 故	出場件数		1		4	3
	救助人員		1		2	0
自 然 災 害	出場件数					4
	救助人員					55
機械による事故	出場件数		1			1
	救助人員		1			0
建物等による事故	出場件数					
	救助人員					
ガス及び酸欠事故	出場件数					
	救助人員					
破 裂 事 故	出場件数					
	救助人員					
その他の事故	出場件数	4	4	5	5	4
	救助人員	4	4	6	4	1

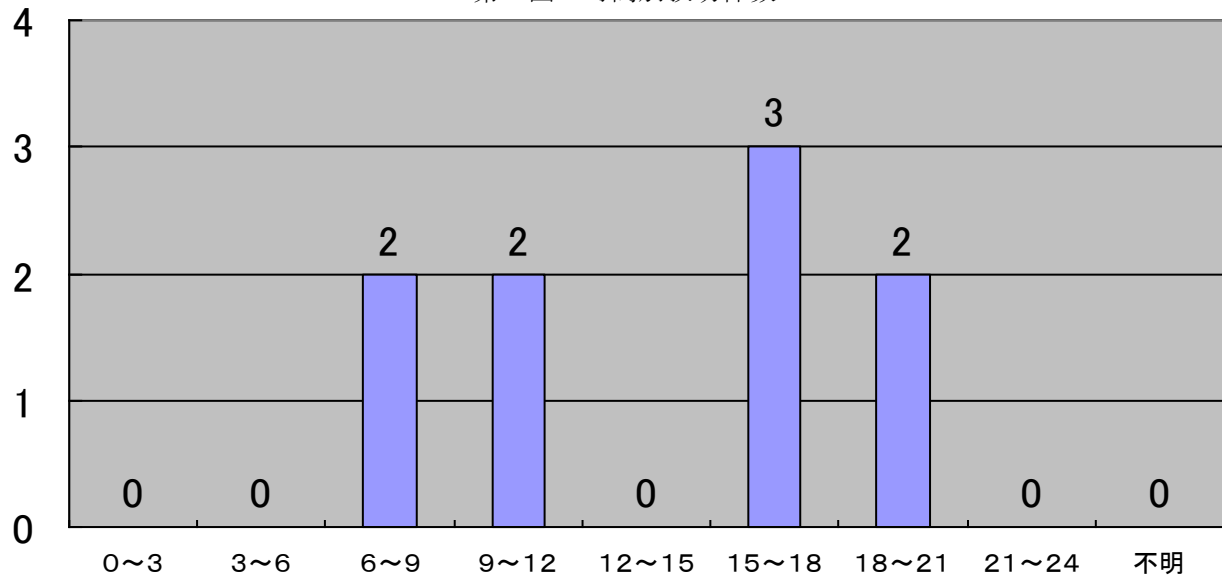
第1図 救助種別件数



第2図 曜日別救助件数



第3図 時間別救助件数



【指令関係】

1. 通信施設の概況

(令和6年4月1日現在)

設 備 名				数 量	備 考
119番回線（光IP回線）				18	
携帯119番転送受付回線				2	広島市消防局・呉市消防局等
指令回線（専用回線）				1	江田島消防署・能美出張所
指令電送回線				1	江田島消防署・能美出張所
局線				4	
屯所FAX				27	消防屯所×27
災害情報自動案内				2	災害テレホンガイド
メール119番				1	
FAX119番				1	
NET119番				1	
携帯電話一斉指令装置				1	
携帯電話		救急車積載		3	災害時優先電話
		災害連絡用		7	総務課×2、警防課×1、署×2、所×2
消防用無線	デ ジ タ ル	基地局		1	江田島消防呉娑々宇山
		陸上 移動局	車載	20	
			携帯	26	
			可搬局	2	
			卓上	1	

2. 119番受信状況（携帯含む）

（令和5年中）

総 数	小 計	災 害				小計	災 害 以 外					
		火災	救急	救助	その他		訓練	問合わせ	間違い	いたずら	回線試験	その他
2,742	2,032	12	1,750	9	261	710	94	115	112	0	164	225

3. 覚知別災害受信状況

（令和5年中）

区 分	総 数	江田島町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	管 轄 外
総 数	2,250	742	425	320	625	138
専 用	1,129	415	246	152	316	
携 帯	903	244	145	136	240	138
加 入	186	64	25	29	68	
駆付け	17	9	7	1		
無 線	7	6			1	
その他	8	4	2	2		

4. 出動指令区分

（令和5年中）

区 分		総 数	江田島町	能 美 町	沖 美 町	大 柿 町	管 轄 外
火 災	第1出動	12	3	4		5	
	第2出動						
	特命出動						
救 急	第1出動	1,476	512	311	208	445	
	第2出動	5	2	2		1	
	特命出動	249	93	46	28	82	
救 助	第1出動	9	3	1	1	4	
	第2出動						
	特命出動						
そ の 他	警戒出動	62	21	16	11	14	
	特命出動						
	調査出動						
	応援出動	265	94	37	64	70	
	その他	8		3		5	

5. 月別災害 119 番受信件数

(令和 5 年中)

区 分	総数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数	2,032	187	176	153	170	144	118	170	213	184	173	175	169
火 災	12	2	2	2			1				3		2
救 急	1,750	154	147	131	145	128	105	152	187	158	152	146	145
救 助	9		1	1		1	1	1		1		3	
その他	261	31	26	19	25	15	11	17	26	25	18	26	22

6. 曜日別災害 119 番受信件数

(令和 5 年中)

区 分	総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数	2,032	265	302	301	278	259	294	333
火 災	12	4	3			1		4
救 急	1,750	223	264	266	245	229	248	275
救 助	9	4	1		1			3
その他	261	34	34	35	32	29	46	51

7. 時間別災害 119 番受信件数

(令和 5 年中)

区 分	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数	2,032	61	50	64	144	296	347	227	223	245	159	134	82
火 災	12			1		2	2	2	3	1	1		
救 急	1,750	51	46	56	115	251	300	199	190	218	139	113	72
救 助	9				1	2	1		1	1	2	1	
その他	261	10	4	7	28	41	44	26	29	25	17	20	10

8. 無線在籍表

配置	区分	種 別	呼 出 名 称	電 力	メーカー	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3
江 田 島 市 消 防 本 部		基 地 局	江田島消防呉姿々宇山	20W	NEC	●	●	●	●	●	●
		陸上移動局 (車載)	江田島本部 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	江田島本部 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	江田島団本部 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (可搬)	江田島可搬局 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (卓上)	江田島統制	5W	NEC	●	●	●	●	●	●
江 田 島 消 防 署	本 署	陸上移動局 (携帯)	江田島 101	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 102	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 103	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		陸上移動局 (車載)	江田島指揮 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部 3	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部救助 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部救急 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部救急 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部救急 3	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部輸送 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部たんく 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		陸上移動局 (携帯)	江田島 104	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 105	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 201	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 202	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 203	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 204	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 205	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 206	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 207	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 208	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 209	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 210	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 211	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 212	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 213	2W	日立	●	●	●	●	●	●
	能 美 出 張 所	陸場移動局 (車載)	鹿川 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鹿川 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鷺部広報 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鹿川救急 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鹿川救急 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		" (車載)	鹿川化学高所 1	10W	NEC	●	●	●	●	●	●
		陸上移動局 (携帯)	江田島 106	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 107	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 301	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 302	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 303	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 304	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 305	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (携帯)	江田島 306	2W	日立	●	●	●	●	●	●
		" (可搬)	江田島可搬局 2	10W	NEC	●	●	●	●	●	●

無線総局数50局 (基地1局・車載20局・携帯26局・可搬局2局・卓上固定局1局)

活動波 1 FH 273.75625MHz, FL 264.75625MHz・活動波 2 FH 274.925MHz, FL 265.925MHz

主運用波 1 FH 274.30625MHz, FL 265.30625MHz・統制波 1 FH 274.90625MHz, FL 265.90625MHz

統制波 2 FH 274.23125MHz, FL 265.23125MHz・統制波 3 FH 274.53125MHz, FL 265.53125MHz

※主運用波のFLのみ電波形式 5K80G1E

【消防団関係】

1. 消防団の沿革

(1) 旧江田島町消防団の沿革

昭和22年12月	消防団令制定により警防団を解散し、江田島第1（10分団）・第2（3分団）消防団を設置する。
昭和30年 4月	第1・第2消防団を統合し、江田島町消防団（13分団・定員492名）が発足する。
昭和37年 4月	定員492名から390名に減員する。 13分団から9分団に編成替えする。
昭和42年12月	役場職員15名を選抜し、兼務による消防機動隊を編成する。
昭和45年 4月	9分団から12分団に編成替えする。
昭和47年 4月	定員390名から395名に増員する。
昭和49年 3月	消防機動隊を解散する。
昭和56年 4月	定員395名から298名に減員する。

【表彰】

昭和33年 1月	広島県知事から竿頭綬を受賞
昭和34年11月	広島県知事から竿頭金馬簾と表彰状を受賞
昭和45年 2月	日本消防協会長から竿頭綬を受賞
昭和58年 2月	日本消防協会長から表彰旗を受賞
平成 元年 3月	消防庁長官から竿頭綬を受賞
平成 9年 4月	日本消防協会長から表彰状を受賞
平成11年 3月	消防庁長官から表彰旗を受賞

(2) 旧能美町消防団の沿革

昭和22年11月	消防組織法が制定され、警防団が消防団となる。
昭和30年 4月	町村合併（鹿川村、中村、高田村）により、能美町となる。
昭和32年 4月	旧3町村消防団が統合し、能美町消防団となる。
昭和35年 4月	定員160名を120名に減員する。
昭和51年 4月	定員120名を100名に減員する。
平成 8年 4月	定員100名を95名に減員する。

【表彰】

昭和39年11月	広島県知事から竿頭金馬簾を受賞
昭和52年 3月	日本消防協会長から竿頭綬を受賞

平成 2 年 2 月 日本消防協会長から表彰旗を受賞

平成 7 年 3 月 消防庁長官から竿頭綬を受賞

(3) 旧沖美町消防団の沿革

昭和 22 年 11 月 消防組織法が制定され、警防団が消防団となる。

昭和 30 年 9 月 三高村及び沖村が町村合併により、沖美町となる。

三高消防団 4 分団定員 88 名、実員 77 名

沖消防団 4 分団定員 102 名、実員 91 名

2 消防団 8 分団定員 190 名、実員 168 名

昭和 35 年 7 月 三高及び沖消防団を統合し、2 分団編成となる。

三高分団 4 班 定員 47 名

沖分団 4 班 定員 47 名

1 消防団 2 分団 定員 94 名

【表彰】

昭和 58 年 9 月 広島県知事から竿頭金馬簾を受賞

平成 3 年 2 月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞

(4) 旧大柿町消防団の沿革

昭和 22 年 11 月 消防組織法が制定され、警防団が消防団となる。

3 分団（大古・大君・柿浦消防団）155 名

昭和 29 年 11 月 旧大柿町、深江村、飛渡瀬村が合併し大柿町として発足する。

5 分団（大古・大君・柿浦・深江・飛渡瀬消防団）270 名

昭和 35 年 1 月 町内の消防団を統合し大柿町消防団となる。

5 分団（第 1 分団～第 5 分団）定員 213 名

昭和 56 年 4 月 定員 213 名から 188 名に減員する。

昭和 62 年 10 月 定員 188 名から 163 名に減員する。

【表彰】

昭和 36 年 12 月 広島県知事から竿頭金馬簾を受賞

昭和 46 年 2 月 日本消防協会長から竿頭綬を受賞

昭和 51 年 3 月 日本消防協会長から表彰旗を受賞

昭和 57 年 3 月 消防庁長官から竿頭綬を受賞

平成 13 年 3 月 消防庁長官から表彰旗を受賞

(5) 江田島市消防団の沿革

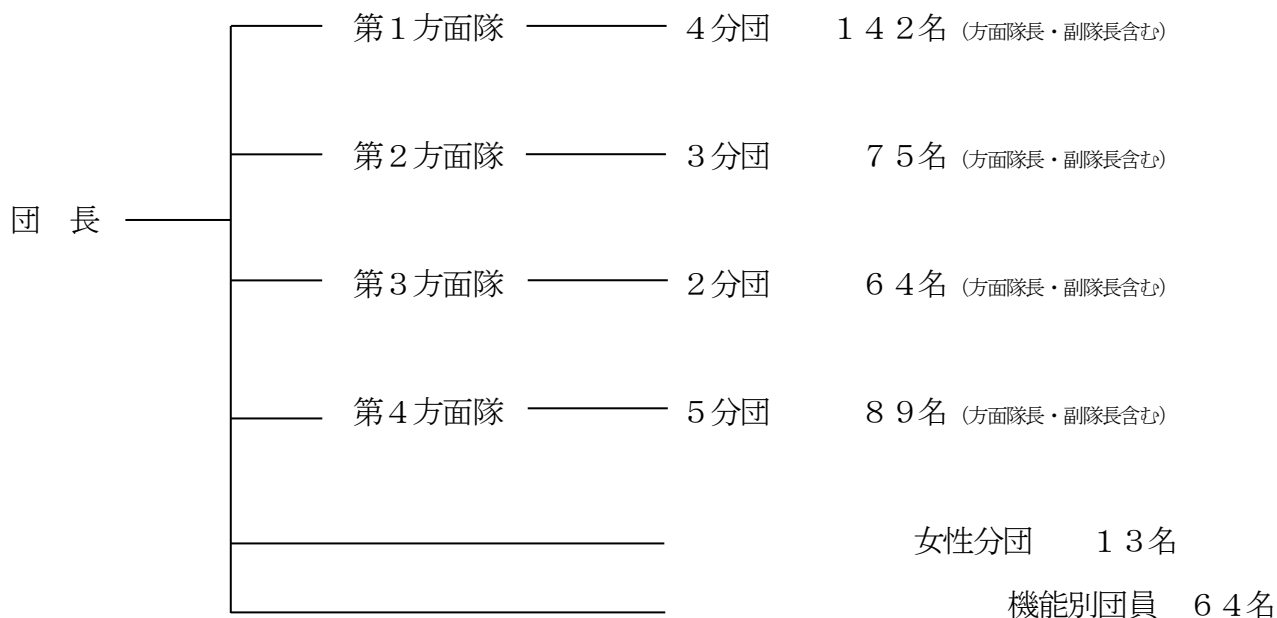
平成16年11月	旧江田島町、能美町、沖美町、大柿町が合併して江田島市が発足。消防団も合併して江田島市消防団となる。 第1方面隊（12分団、定員294名）、第2方面隊（3分団、定員92名）、第3方面隊（2分団、定員92名）、第4方面隊（5分団、160名）
平成21年 4月	消防団活性化の検討結果に基づき、消防団組織を一部変更。 定員647名から614名に減員する。 分団数22分団から16分団に編成替えする。 団本部（9名）第1方面隊（6分団、定員250名）、第2方面隊（3分団、定員100名）、第3方面隊（2分団、定員95名）、第4方面隊（5分団、160名）
平成22年 9月	第1方面隊東分団及び第4方面隊柿浦分団に救助班を設立。
平成24年 4月	女性分団発足準備に伴い、消防団組織を一部変更。 分団数16分団から17分団に編成替えする。 団本部（9名）、第1方面隊（6分団、定員245名）、第2方面隊（3分団、定員96名）、第3方面隊（2分団、定員89名）、第4方面隊（5分団、定員151名）、女性分団（1分団、24名）
9月	女性分団（12名）発足。
10月	第2方面隊鹿川分団及び第3方面隊沖分団に救助班を設立。
平成25年12月	江田島市商工会の支援を受け、趣旨に賛同した19事業所の協力により「消防団応援の店」を開始。
平成26年 5月	第1方面隊北分団に救助班を増設。
平成29年10月	機能別団員制度の創設。（定員614名のうち、93名を機能別団員とする。）
平成30年 4月	機能別団員（26名）発足。
令和 4年 4月	定員614名から500名に減員する。（基本団員430名、機能別団員70名）
令和 5年 3月	第1方面隊北分団大須消防屯所開所。
令和 5年 7月	第1方面隊中央第1、2分団、東分団小用部を統合し、中央分団を設立。 第1方面隊南分団へ東分団秋月部を統合。 分団数17分団から15分団に編成。

【表彰】

平成27年 3月	日本消防協会長から竿頭綬を受賞
平成31年 2月	消防庁長官から防災功労者消防庁長官表彰を受賞

2. 江田島市消防団組織図

(令和6年4月1日現在)



3. 消防団長・方面隊長

職 名	氏 名	在 職 期 間
江田島市消防団長	川端 睦夫	令和 6年 4月1日 ～ 現 在
第1方面隊長	住岡 浩	令和 6年 4月1日 ～ 現 在
第2方面隊長	小倉 秀則	令和 5年 4月1日 ～ 現 在
第3方面隊長	槌家 昌則	令和 3年 4月1日 ～ 現 在
第4方面隊長	重谷 明快	令和 6年 4月1日 ～ 現 在

4. 階級別団員数（機能別団員含む）

（令和6年4月1日現在）

区 分	総 数	階 級 別							
		団長	隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団 員
総 数	448	1	4	4	15	19	52	93	260
団 本 部	9	1	4	4					
女性分団	13				1	1	2	1	8
第1方面隊	165				4	8	18	37	98
第2方面隊	83				3	3	9	18	50
第3方面隊	70				2	2	8	13	45
第4方面隊	108				5	5	15	24	59

5. 消防団員退職・新任状況

（令和5年中）

退職団員数	自己都合	定年等	傷 病			死 亡			整理統合
			計	公 務	その他	計	公 務	その他	
39	25	13				1		1	
	在 職 年 数								
	5年未満	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30年以上		
	4	8	5	5	3	5	9		
新任団員数	18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳以上		
21	1	2		4	4	6	4		

6. 基本団員の在職年数 (機能別団員除く)

(令和6年4月1日現在)

区 分 分団別		計	5 年 未満	5 年 以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
本 部		9						1	8
女 性 分 団		13	4	5	4				
第1方面隊	中央分団	38	5	11	8	5	2	4	3
	南分団	38	6	6	8	8	4	2	4
	北分団	35	7	9	7	3	5	3	1
	西分団	27	6	3	7	3	3	3	2
第2方面隊	鹿川分団	28	2	8	5	3	4	4	2
	中町分団	30	4	6	2	3	5	5	5
	高田分団	16	2	2	5	2	3		2
第3方面隊	沖分団	26	8	5	3	4	3	2	1
	三高分団	36	7	9	10	4	3	3	
第4方面隊	深江分団	8		3					5
	大古分団	21	3	4	3	2	2	3	4
	大君分団	17	4	7	1	2		2	1
	柿浦分団	15	2	5	5		1		2
	飛渡瀬分団	27	6	6	7	6	1	1	
総 数		384	66	89	75	45	36	33	40

7. 団員の年齢構成

区分 年齢別	計	うち 女性 消防 団員	団 長	隊 長	副 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 (は 機 能 別 団 員
18～24歳	8								1	7
25～29歳	13								4	9
30～34歳	16									16
35～39歳	41	2						1	8	32
40～44歳	58	2					1	4	18	35
45～49歳	63	1				1	1	7	14	39(1)
50～54歳	72	5			1	2	3	15	18	31(2)
55～59歳	48				1	5	3	10	13	16
60～64歳	66	3				7	11	15	17	11(5)
65歳以上	63		1	4	2					(56)
総 数	448	13	1	4	4	15	19	52	93	196(64)

8. 消防団の定員と報酬

	計	団 長	隊 長	副隊長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	団 員 (機能別)
定 員	500	1	4	4	15	20	57	107	222	70
実 員	448	1	4	4	15	19	52	93	196	64
報酬 (年額)		82,500	69,000	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	
出動報酬	災害出動 1日につき 8,000円 (4時間未満) 4,000円 その他の出動 1日につき 2,400円									